

平成18年度 保健学部 教室別業績集 目次

| | | | |
|----|-------------------------------|----|-------------------------------------|
| 06 | 生理・生体工学教室 … 2 | 31 | 精神保健学 … 18 |
| 06 | 分析化学教室 … 4 | 35 | 臨床生理学医用応用工学教室 … 22 |
| 07 | 環境生命科学 … 5 | 37 | 先端臨床工学研究室 … 24 |
| 10 | 病理学 … 6 | 38 | 医用情報工学教室 … 30 |
| 11 | 生化学 … 7 | 39 | 生体機能代行装置学 … 30 |
| 14 | 臨床微生物学 … 8 | 40 | 循環器病態生理学 … 32 |
| 14 | 病態生化学 … 10 | 44 | 母子看護助産学 … 33 |
| 18 | 臨床検査学 … 11 | 45 | 地域看護学 … 36 |
| 21 | 臨床遺伝学 … 12 | | 細胞診断学教室 … 39 |
| 25 | 救急医学 … 13 | | 臨床血液学教室 … 41 |
| 28 | 公衆衛生学 … 15 | | 医療コミュニケーション学教室 … 42 |

生理・生体工学教室

I. 口演

1. 嶋津秀昭：理解すべき工学的基礎知識 I. 第 12 回第 1 種 M E 技術実力検定試験講習会，東京，平成 18 年 4 月 9 日.
2. 加藤幸子，有馬太郎，秋元恵実，小林博子，嶋津秀昭：鍼灸治療における患者・治療者による痛み評価の比較. 第 55 回（社）全日本鍼灸学会学術大会，金沢，平成 18 年 6 月 17 日.
3. 有馬太郎，加藤幸子，秋元恵実，小林博子，嶋津秀昭：実験的上唇部痛の合谷鍼刺激による治療効果の評価. 第 55 回（社）全日本鍼灸学会学術大会，金沢，平成 18 年 6 月 17 日.
4. 嶋津秀昭：A S I 測定原理の再確認および、上腕と下肢（前脛骨）動脈 A S I の比較検討. 第 6 回日本 AS 学会，東京，平成 18 年 9 月 9 日.
5. 嶋津秀昭，小林博子，瀬野晋一郎，中西孝，神山卓郎¹，松本健一²（¹シチズン・システムズ(株)，²シチズン時計(株)）：間接的血圧測定用ダイアル締め付け式ワンタッチカフの開発. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会，野田，平成 18 年 9 月 12 日.
6. 嶋津秀昭：「深部静脈血栓症および肺梗塞の成因と予防法」
 1. 空気圧による下肢圧迫と血栓予防. 第 35 回杏林医学会総会医学部・保健学部合同公開シンポジウム，三鷹，平成 18 年 11 月 18 日.
7. 加藤幸子，有馬太郎，秋元恵実，瀬野晋一郎，小林博子，嶋津秀昭：鍼灸治療における患者および治療者による痛みレベル評価の差異の検討. 第 35 回杏林医学会総会，三鷹，平成 18 年 11 月 18 日.
8. 有馬太郎，加藤幸子，秋元恵実，瀬野晋一郎，小林博子，嶋津秀昭：カプサイシン溶液により作製した上唇部痛の鍼刺激による鎮痛効果の評価. 第 35 回杏林医学会総会，三鷹，平成 18 年 11 月 18 日.
9. 嶋津秀昭，小林博子，瀬野晋一郎，有馬太郎，加藤幸子，秋元恵実：上腕および下肢（前脛骨）動脈血管硬化度の比較検討. 第 35 回杏林医学会総会，三鷹，平成 18 年 11 月 18 日.
10. 市川佳保里，石塚まり子，小林博子，嶋津秀昭：間接的血圧測定用ダイアル締め付け式カフの開発. 八王子産学公連携機構 第 6 回研究成果発表講演会，八王子，平成 18 年 12 月 9 日.

11. 石塚まり子，市川佳保里，小林博子，嶋津秀昭：上腕および下肢の動脈血管硬化度の比較検討．八王子産学公連携機構 第6回研究成果発表講演会，八王子，平成18年12月9日．
12. 嶋津秀昭：痛みの定量計測法－測定原理と計測システム－．（株）情報機構セミナー，東京，平成19年1月26日．

II．論文

1. 木暮守宏¹，加藤幸子，秋元恵実，小林博子，嶋津秀昭，武井静代²，内藤美智子¹，笠原多嘉子¹，久光正¹（¹昭和大・医・第一生理学，²東京アロマセラピーカレッジ）：植物精油についての嗅覚生理学的研究調査－香りに対する好き嫌い－．Journal of Japanese Society of Aromatherapy 5：25-33，2006．

III．著書

1. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第1回 単位から考える物理学①－単位とは何か－．Clinical Engineering. 東京，秀潤社，2006． p.387-392.
2. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第2回 単位から考える物理学②－SI 単位系－．Clinical Engineering. 東京，秀潤社，2006． p.525-533.
3. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第3回 力の働き①－力の基本法則－．Clinical Engineering. 東京，秀潤社，2006． p.616-624.
4. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第4回 力の働き②－引力・重力，摩擦力，モーメント－．Clinical Engineering. 東京，秀潤社，2006． p.773-780.
5. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第5回 力の働き③－力の作用と運動－．Clinical Engineering. 東京，秀潤社，2006． p.892-901.
6. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第6回 力の働き④－物体の変形に関する力学－．Clinical Engineering. 東京，秀潤社，2006． p.998-1005.

7. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第7回
流体の力学①－流体の特徴と圧力－. Clinical Engineering.
東京，秀潤社，
2006. p.1131-1137.
8. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第8回
流体の力学②－表面張力，粘性－. Clinical Engineering. 東
京，秀潤社，2006. p.1265-1272.
9. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第9回
流体の力学③－層流と乱流－.
Clinical Engineering. 東京，秀潤社，2006.
p.1354-1361.
10. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第10回
振動と波動①－エネルギー，振動－. Clinical Engineering.
東京，秀潤社，
2007. p.81-88.
11. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第11回
振動と波動②－波動の基本的性質－. Clinical Engineering.
東京，秀潤社，
2007. p.195-203.
12. 嶋津秀昭：臨床工学技士のための「二度目の物理学入門」第12回
振動と波動③－速度に関連する波の性質－. Clinical Engineer
ing. 東京，秀潤社，2007. p.311-319.

分析化学教室

口演

1, 岡田洋二、田中薫 1、佐藤英助 2、丘島晴雄 (1 杏林大・保健・医
用情報工学, 2 青森大・薬・分析化学) : アリシンの抗酸化機構に関す
る研究－アシル位水素の関与－. 第 126 年会日本薬学会, 仙台, 平成 1
8 年 3 月 28-30 日.

論文

1, Okada Y, Tanaka K, Sato E & Okajima H : Kinetic and mechanis
tic studies of allicin as an antioxidant. Org Biomol Chem 4 : 41
13-4117, 2006.

2, 佐藤英助 1、佐藤昌泰 1、岡田洋二、丘島晴雄 (1 青森大・薬・分析
化学) : 環境と健康 (第 29 報) : 東京地区における河川中水銀濃度の
予備調査. 青森大学・青森短期大学研究紀要 29 : 53-60, 2006.

環境生命科学教室

原著論文

Construction of a Bacterial Artificial Chromosome (BAC) Library and the Genomic Analysis of Valosine-Containing Proteins in the earthworm *Eisenia fetida*

K. Suzuki, T. Suzuki, S. Stürzenbaum and S. Gamou

European Journal of Soil Biology, in press.

和文総説

医学研究と医療における倫理委員会の役割：米国の例

蒲生 忍

杏林医学会雑誌 37(4):83-90, 2006(Dec).

学会等発表

招待講演 (English)

Health Care Ethics Education in Seattle: What I learned and what I want to teach.

S. Gamou.

UNESCO-UNU Bioethics Roundtable. UNU-IAS Yokohama, Feb. 15, 2007

Workshop(English)

Identification of Valosine-Containing Proteins (Vcp) as a Novel Spermatogenesis Related Factor in *Eisenia fetida* (Savigny, 1826)

Shinobu Gamou, Tomoharu Suzuki, Makoto Honda, Seiji

Matsumoto, and Stephen R. Stürzenbaum

The 8th International Symposium on Earthworm Ecology, Krakow, Poland, Sept. 4-9, 2006

一般発表 (English)

Molecular Phylogenetic Analysis of Common *Amynthas* Worm in Japan

Shinobu Gamou, Tomomi Hirayama, Tomoharu Suzuki, Makoto

Honda, and Seiji Matsumoto

The 8th International Symposium on Earthworm Ecology, Krakow,
Poland, Sept. 4-9, 2006

一般発表(日本語)

シマミミズから単離したVCP遺伝子のゲノム構造 Genomic Structure
Analysis of VCP Genes Isolated from *Lumbricidae* Earthworm
Using BAC Library

蒲生 忍・鈴木恒平・鈴木知晴

日本動物学会第77回大会(松江) 2006/9/21-24

Molecular phylogenetic Analysis of Common Earthworm in Japan.

S. Gamou and , S. Matsumoto

日本分子生物学会 2006 フォーラム(名古屋) 2006/12/6-8

病理学教室

I. 口 演

1. 山本寛, 滝口祥恵¹, 郡秀一², 飯島淳子², 安井英明², 海野みちる³, 大河戸光章, 藤井雅彦(¹千葉県立東金病院検査科, ²杏林大・保・細胞診断学, ³同・医学部病理学): 前立腺腫瘍における PIN Cocktail 抗体を用いた二重染色. 第55回日本医学検査学会, 松江市, 平成18年5月19日.
2. T Komoda, H Yamamoto, N Sekine, H Bannai.: Kinetic study of serum antibodies to *Chlamydia trachomatis* and *Chlamydopila pneumoniae* in long term follow-up patients. The 27 World Congress of Biochemical Laboratory Science, Seoul Sep.17, 2006.
3. 藤井雅彦: 静脈血栓の形成メカニズム. 第35回杏林医学会総会, 三鷹市, 平成18年11月18日.
4. 小野川傑¹, 山本寛, 瀧龍雄², 新江賢¹, 遠藤宣子¹(¹杏林大・保・免疫学, ²北里大・医衛・微生物): 実験的敗血症マウスへの IL-6 レセプター投与による生体反応への影響. 第80回日本細菌学会総会, 大阪市, 平成19年3月27日.

II. 論 文

1. 山本寛: 乳癌組織における Vascular Endothelial Growth Factor-C の免疫組織化学的発現とリンパ管侵襲. 杏林医学会. 37: 8-15, 2006.

Ⅲ．著 書

Ⅳ．その他

1. 山本寛、藤井雅彦：前立腺腫瘍病理診断に有用な免疫組織化学．*Medical Technology* 34:1103-1104, 2006.

生化学研究室

口 演

1. セレノプロテイン S 遺伝子多型と血清生化学データや BMI との関連：島幸夫、太田英彦．第 13 回遺伝子診療学会大会，東京，平成 18 年 7 月 28-29 日．
2. 生化学実習を充実させるには？：島幸夫、太田英彦．第 1 回日本臨床検査学教育学会学術大会，東京，平成 18 年 8 月 23-25 日．
3. アルデヒド脱水酵素 ALDH2 遺伝子多型と健診データとの関連：竹内信乃、島幸夫、太田英彦、佐藤豊二¹（¹新潟県立がんセンター 生化学検査室）．第 57 回日本電気泳動学会総会，静岡県浜松市，平成 18 年 10 月 27-28 日．
4. 骨肉腫患者の MTX 大量療法中に carbonic anhydrase II (CAII) が尿中に検出された 1 例：金子拓志¹，丸山佐和子¹，小林聡子¹，石川直子¹，齋藤博司¹，佐藤豊二¹，瀬川博之²，小林宏人²，守田哲郎²（¹新潟県立がんセンター新潟病院 生化学検査室，²同 整形外科），島幸夫．第 57 回日本電気泳動学会総会，静岡県浜松市，平成 18 年 10 月 27-28 日．
5. 尿酸トランスポーター URAT1 遺伝子多型と血清尿酸値との関連性：島幸夫 太田英彦．第 13 回未病システム学会学術総会，東京，平成 18 年 12 月 2-3 日．
6. 脂肪腫に検出された HMGA2/LPP fusion の 2 例：平野有司¹，津田美和¹，芳賀博子¹，原光雅¹，佐藤豊二¹，畠野宏史²，内山徹²（¹新潟県立がんセンター新潟病院 生化学検査室，²同 整形外科），島幸夫．第 53 回日本臨床検査医学会学術集会，青森県弘前市，平成 18 年 11 月 9-11 日．
7. MTX 大量療法骨中の肉腫患者のモニターリング蛋白を求めて（第 2 段） Tamm-Horsfall Protein：石川直子¹，小林聡子¹，平野有司¹，芳賀博子¹，丸山佐和子¹，大倉和代¹，金子拓志¹，齋藤博司¹，原光雅¹，佐藤豊二¹，畠野宏史²，内山徹²，瀬川博之²，小林宏人²，守田哲郎²（¹新潟県立がんセンター新潟病院 生化学検査室，²同 整形外科），島幸夫．第 17 回生物試料分析学会大会，長野県松本市，平成 19 年 2 月 11-12 日．

論文

1. Shima Y., Teruya K, Ohta H. Association between intronic SNP in urate-anion exchanger gene, SLC22A12, and serum uric acid levels in Japanese. *Life Sci.* 2006. 79(23):2234-7
2. Matsumoto S¹, Yoshida S¹, Ikeda M¹, Tanimoto T¹, Saiki C¹, Takeda M¹, Shima Y., Ohta H. (¹Department of Physiology, Nippon Dental University, School of Dentistry at Tokyo.): Effect of 8-bromo-cAMP on the tetrodotoxin-resistant sodium (Nav 1.8) current in small-diameter nodose ganglion neurons. *Neuropharmacology.* 2007; 52:904-924

Ⅲ, Ⅳ 著書、その他 なし

臨床微生物学教室

I. 口演

1. 岩崎友美, 森田耕司, 渡辺登, 金森政人, 倉園貴至¹, 山口正則¹, 鈴木理恵子², 沖津忠行², 伊藤健一郎³ (¹埼玉衛研, ²神奈川衛研, ³国立感染研) : cesT 遺伝子型別による志賀毒素産生大腸菌 0157:H7 の迅速診断. 第 80 回日本感染症学会総会, 東京, 平成 18 年 4 月 20-21 日.
2. Sekiguchi J¹, Mizuguchi Y¹, Araake M¹, Watari H², Kojima T², Morita K, Kuratsuji T³ & Kirikae T¹ (¹International Medical Center of Japan, ²Eiken Chemical Co Ltd, ³National Research Institute for Child Health and Development): Rapid and simple method for detecting gacA, mecA and femB in antiseptics- and methicillin-resistant Staphylococcus aureus by loop-mediated isothermal amplification. The 106th General Meeting of the American Society for Microbiology, Orlando, May 22-24, 2006.
3. 森田耕司, 渡辺登, 金森政人: 微生物学実習で固有の正常細菌叢を認識させるために. 第 1 回日本臨床検査学教育学会学術大会、東京、平成 18 年 8 月 23-25 日.
4. 森田耕司, 岩崎友美, 渡辺登, 金森政人: cesT 遺伝子多型を利用した志賀毒素産生大腸菌 0157:H7 株の迅速同定. 第 1 回日本臨床

検査学教育学会学術大会、東京、平成 18 年 8 月 23-25 日。

5. 岩崎友美, 森田耕司, 渡辺登, 金森政人, 倉園貴至¹, 山口正則¹, 鈴木理恵子², 沖津忠行², 伊藤健一郎³ (¹埼玉衛研, ²神奈川衛研, ³国立感染研) : 志賀毒素産生大腸菌が保有する tir, cesT, eae 遺伝子多型. 第 10 回腸管出血性大腸菌感染症シンポジウム, 東京, 平成 18 年 8 月 31 日 - 9 月 1 日.
6. 森田耕司, 渡辺登, 岩崎友美, 金森政人, 関口純一郎¹, 切替照雄¹, 近真理奈², 倉園貴至², 山口正則², 松下秀³ (¹埼玉衛研, ²国立国際医療センター研, ³都健康安全研) : 志賀毒素産生大腸菌 026:H11 株に保有を認めた第三世代セフェム, ホスホマイシン耐性プラスミド pSTEC3060 の構造について. 第 10 回腸管出血性大腸菌感染症シンポジウム, 東京, 平成 18 年 8 月 31 日 - 9 月 1 日.
7. 森田耕司, 渡辺登, 岩崎友美, 松下秀¹, 金森政人 (¹都健康安全研) : Vibrio cholerae におけるキノロン系薬耐性と耐性関連遺伝子の変異. 第 40 回腸炎ビブリオシンポジウム, 東京, 平成 18 年 11 月 30 日 - 12 月 1 日.

II. 論文

1. 小倉健一¹, 齊藤冬彦¹, 森田耕司 : フルオロキノロン耐性 Salmonella Typhimurium が分離された小児下痢症の 2 症例. 日本臨床微生物学雑誌 16: 96-101, 2006.
2. Sekiguchi J¹, Miyoshi-Akiyama T¹, Augustynowicz-Kopec², Zwolska Z², Kirikae F¹, Toyota E¹, Kbayashi I³, Morita K, Kudo K¹, Kato S⁴, Kuratsuji T^{1, 5}, Mori T^{4, 6} & Kirikae T¹
(¹International Medical Center of Japan, ²National Research Institute of tuberculosis and Lung Disease, ³Mitsubishi Kagaku Bio-Clinical Laboratories, ⁴Research Institute of Tuberculosis, ⁵National Research Institute for Child Health and Development, ⁶National Institute of Infectious Diseases): Detection of multidrug resistance in Mycobacterium tuberculosis. J Clin Microbiol 45: 179-192, 2007.

III. 著書

1. 日暮芳己, 森田耕司 : 一般細菌薬剤感受性試験, PK (薬物動態) / PD (薬力学) を用いた感受性試験の概説. 臨床検査データブック. 黒川清, 春日雅人, 北村聖編. 東京, 医学書院, 2007. p.460-465.

病態生化学研究室

口演

1. 平岡厚, 裏出良博 1, 兼清貴久 1, 岡崎一生 1, 富永格 2, 堀浩二 2 (1 大阪バイオサイエンス研究所, 2 下総精神医療センター) : キャピラリー電気泳動-質量分析によるヒト脳脊髄液中のアミロイド β -ペプチドの存在状態の検討. 第 13 回クロマトグラフィーションポジウム, 東京, 平成 18 年 6 月 8 日.
2. 平岡厚 : シュウ酸による銅含有酵素チロシナーゼの阻害に及ぼす長鎖脂肪酸及びその塩類の緩和効果の検討. 第 17 回日本微量元素学会, 静岡, 平成 18 年 7 月 14 日.
3. Hiraoka A, Urade Y1, Kanekiyo T1, Okazaki I1, Tominaga I2 & Hori K2 (1Dept of Mol Behavior Biol, Osaka Biosci Inst, 2Shimohusa Psychiat Med Cent): Capillary electrophoresis-mass spectroscopic studies on amyloid β -peptide in the human cerebrospinal fluid. Int Con 43rd Jpn Peptide Symp and 4th Peptide Engineering Meeting. Yokohama, Nov 5-8, 2006.
4. 平岡厚, 池田真也 1, 福士恵一 1, 富永格 2, 堀浩二 2 (1 神戸大・海事, 2 下総精神医療センター) : キャピラリーゾーン電気泳動による神経疾患の患者脳脊髄液及び血清中の硝酸イオン及び亜硝酸イオンの分離・定量. 第 26 回キャピラリーゾーン電気泳動シンポジウム, 京都, 平成 18 年 11 月 13 日.

2. 論文

1. Hiraoka A, Sasaki S, Yamada T, Shinohara A1 and Chiba M2 (1Dept of Epidemiol and Environ Health, Juntendo Univ Sch of Med, 2Int Univ Health and Welfare, Sch of Pharm Sci): Effects of drinking a water products with antioxidant activities *in vitro* on the blood levels of biomarker substances for the oxidative stress. J Health Sci, 52, 817-820, 2006.

3. その他

1. Hiraoka A, Urade Y1, Kanekiyo T1, Okazaki I1, Tominaga I2 and Hori K2 (1Dept of Mol Behavior Biol, Osaka Biosci Inst, 2Shimohusa Psychiat Med Cent): Capillary electrophoresis-mass spectroscopic studies on amyloid β -peptide in the human cerebrospinal fluid. In: Peptide Sci 2006, Ishida H and Mihara H (Eds.), Tokyo, The Jpn Peptide Soc, 2006, pp282-283.
2. Hiraoka A: High-performance capillary electrophoresis of proteins in human body fluids: Applications of isoelectrofocusing and sodium dodecylsulfate-gel electrophoresis modes to the protein analyses of cerebrospinal fluid and serum samples from patients with neurological disorders. Trends in Chromatogr. 1, 53-61, 2005. (発刊の遅れによる)(Review)

3. 平岡厚：パーシヴァル・ローエルの「オカルト・ジャパン」について（第9報），杏林大学教養部門研究報告，24，124-129，2007.
4. 平岡厚：「あるある」とマイナスイオン．JAPAN SKEPTICS NEWSLETTER，62．1-2，2007.

臨床検査学研究室

I．口演

1. 菰田照子，坂内久一，大島俊文¹，芦田愛¹，本村龍太郎²，秋田博伸³，岩田敏⁴，佐藤吉壮⁵，砂川慶介⁶（¹明治乳業株式会社，²もとむら産婦人科医院，³聖マリアンナ医大横浜市西部病院・小児科，⁴国立病院東京医療センター・小児科，⁵富士重工業健康保険組合総合太田病院・小児科，⁶北里大・医・感染症学）：異なる *Chlamydia trachomatis* 血清型株と患者血清による immunoblot. 第80回日本感染症学会総会，東京，平成18年4月20日.
2. 大橋えり¹、吉田伸治¹、大岡龍三²、宮沢博（¹福井大学工学部，²東京大学生産技術研究所）：スギ花粉粒子の室内侵入率と室内落下量分布の実態について．日本建築学会 2006年度大会（関東），横浜，平成18年9月7-9日
3. Komoda T, Yamamoto H, Sekine N & Bannai H: Kinetic study of serum antibodies to *Chlamydia trachomatis* and *Chlamydophila pneumoniae* in long term follow-up patients. The 27th World Congress of Biomedical Laboratory Science, Seoul, Sep. 17, 2006.
4. 坂内久一： *Chlamydia* 感染症の実験室診断から未病検査へ．合同酒精株式会社酵素研究所，松戸市，平成18年11月17日.
5. 鈴木麻美¹，山元有佳¹，高橋宗良²，西村伸大²（¹杏林大・保・看護，²杏林大・保・臨床）：ラベンダーオイルを用いた芳香が状態不安および作業効率に及ぼす影響．日本アロマテラピー学会総会，大宮，平成18年11月3-4日.
6. 西村伸大¹，菅野敬祐²，森谷直樹³，丹羽健³（¹杏林大・保，²北里大・保，³山野美芸短）：精神的ストレス負荷に対するネロリ芳香浴の影響．日本未病システム学会学術総会，品川，平成18年12月2-3日.
7. 坂内久一：手軽にできる健康チェックと病院検査．八王子学園都市大学・いちよう塾，八王子，平成19年2月17日.
8. 西村伸大：ネロリ芳香浴による生理的影響の検討．山野美容芸術短期大学研究報告会，八王子，平成19年3月7日.

II．論文

1. 藤野美菜¹，岩田利枝¹，望月悦子²，宮沢博（¹東海大学情報デザイン工学部，²早稲田大学理工学術院）：都内保育園における真菌・ダニアレルゲン量による空気汚染の実態調査．日本建築学会環境

系論文集 609: 47-53, 2006.

2. 菰田照子, 大島俊文¹, 芦田愛¹, 坂内久一, 本村龍太郎², 秋田博伸³, 岩田敏⁴, 佐藤吉壮⁵, 砂川慶介⁶ (¹明治乳業株式会社, ²もとむら産婦人科医院, ³聖マリアンナ医大横浜市西部病院・小児科, ⁴国立病院東京医療センター・小児科, ⁵富士重工業健康保険組合総合太田病院・小児科, ⁶北里大・医・感染症学): 各種血清型菌体を抗原とした immunoblot 法による抗 *Chlamydia trachomatis* 抗体の検出. 感染症誌 81:133-137, 2007.

IV. その他

1. 坂内久一: 第 13 回日本未病システム学会学術総会事務局, 東京, 平成 18 年 12 月 2-3 日.

追加 (H17 年度)

IV. その他

1. 坂内久一, 菰田照子: 質疑応答. 臨床検査. 日本醫事新報 4258: 90-91, 2005.

臨床遺伝学教室

I. 口演

1. Shimizu Y. Molecular biology of human single-minded 2 gene involved in Down syndrome. International Symposium on Molecular Medicine, Cluj-Napoca, June 1-2, 2006.
2. Shimizu Y, Yamaki A, Asai S, Ueno A, Kudoh J¹, Shimizu N¹ (¹Dept. Mol. Biol. Keio Univ. Sch. Med) Hyaluronan synthetase 2 as a target of human SIM2 20th IUBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology and 11th FAOBMB Congress, Kyoto, June18-23, 2006.
3. Yamaki A, Kudoh J¹, Shimizu N¹, Shimizu Y, (¹Dept. Mol. Biol. Keio Univ. Sch. Med) Molecular interaction of single-minded (SIM) proteins with Arylhydrocarbon receptor translocator (ARNT) proteins. 20th IUBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology and 11th FAOBMB Congress, Kyoto, June18-23, 2006.
4. 田村高志, 八巻明子, 東原英二¹, 清水淑子 (¹杏林大医泌尿器) : 本邦における多発性嚢胞腎患者の PKD1 遺伝子変異解析. 第 13 回日本遺伝子診療学会, 東京, 平成 18 年 7 月 28-29 日.
5. 清水淑子, 八巻明子, 浅井聡子、上野明子、工藤純¹, 清水信義¹ (¹慶應大医分子生物) ヒト SIM2 転写調節遺伝子は HAS2 遺伝子の発現を調節する. 第 13 回日本遺伝子診療学会, 東京, 平成 18 年 7 月 28-29 日.
6. 田村高志, 八巻明子, 東原英二¹, 清水淑子 (¹杏林大医泌尿器)

：多発性嚢胞腎患者における PKD1 遺伝子の変異解析．第 14 回嚢胞性腎疾患研究会，東京，平成 18 年 8 月 21 日．

7. Shimizu Y, Yamaki A, Asai S, Ueno A, Kudoh J¹, Shimizu N¹ (¹Dept. Mol. Biol. Keio Univ. Sch. Med): Hyaluronan synthetase is a target gene of human SIM2 transcription factor. The American Society of Human Genetics 56th Annual Meeting, New Orleans, October 9-13, 2006.
8. 浅井聡子：ダウン症関連遺伝子 DSCR4 の発現解析．第 15 回杏林医学会賞受賞記念講演．東京、平成 18 年 11 月 18 日．

III. 著書

1. 清水淑子：多発性嚢胞腎の基礎 1. PKD1 変異の検出、変異の特徴
2. PKD2 変異の検出、変異の特徴．多発性嚢胞腎の全て．東原英二監修，インターメディアカ，2006． p. 26-28, p. 32-33.

IV. その他

1. 清水淑子：ダウン症関連遺伝子の発現調節と蛋白の機能解析．科学研究費補助金（基盤研究 B）研究報告書、平成 17 年 6 月．

救急医学研究室

I. 口 演

1. 山内亮子, 和田貴子, 深澤政富, 柳澤厚生¹, 小池秀海², 櫻井勝³, 肥留川賢一⁴, (¹杏林大・保・医療コミュニケーション学, ²杏林大・保・神経生理学, ³成蹊学園保健管理センター, ⁴青梅市立総合病院救命救急センター): 講習会インストラクターを務めることが学習意欲へ及ぼす影響．第 9 回日本臨床救急医学会総会, 盛岡, 平成 18 年 5 月 11 日-12 日．
2. 鱸伸子¹, 柳澤厚生¹, 山内亮子, 深澤政富, 和田貴子, 小池秀海² (¹杏林大・保・医療コミュニケーション学, ²杏林大・保・神経生理学): 救急救命士を目指す学生に対するコーチング・コミュニケーション教育の評価．第 9 回日本臨床救急医学会総会, 盛岡, 平成 18 年 5 月 11 日 - 12 日．
3. 山内亮子, 和田貴子, 深澤政富, 鱸伸子¹, (¹杏林大・保・医療コミュニケーション学): 救急救命士を目指す学生に対するコーチング・コミュニケーション教育の評価．第 34 回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 平成 18 年 10 月 30 日．
4. 板垣智巳¹, 山内亮子, 深澤政富, 馬場道夫, 和田貴子, 柳澤厚生² 鱸伸子² 櫻井勝³ 肥留川賢一⁴ (1 杏林大・院・国際協力研究科 2 杏林大・保・医療コミュニケーション学 3 成蹊学園保健管理センター 4 青梅市立総合病院救急医学科): 講習会インストラクターを務めることによる学習意欲へ及ぼす影響．第 34 回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 平成 18 年 10 月 30 日

5. 和田貴子, 岡本博照¹, 角田透¹ (1 杏林大・医・衛生学公衆衛生学) : 地域救急医療における女性医師の人材活用の可能性について. 第34回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 平成19年11月1日
6. 山内亮子, 和田貴子, 鱸伸子¹, 柳澤厚生¹ (杏林大・保・医療コミュニケーション学) : 救急救命士を目指す学生に対するコーチング・コミュニケーション教育の評価, 杏林医学会総会, 東京, 平成18年11月18日
7. 板垣智巳¹, 和田貴子, 山内亮子, 柳澤厚生² (¹ 杏林大・院・国際協力研究科・国際医療協力専攻, ² 杏林大・保・医療コミュニケーション学) : 講習会インストラクターを務めることが学習意欲へ及ぼす影響. 杏林医学会, 東京, 平成18年11月18日
8. 三澤里織¹, 城間敏子¹, 木村雅彦¹, 岡島康友², 樽井武彦, 小泉健雄, 渡邊淑子³, 大浦紀彦, 和田貴子, 島崎修次, 山口芳裕, 武井秀史⁴, 呉屋朝幸⁴ (¹ 杏林大学病院リハビリテーション室, ² 杏林大・医・リハビリテーション医学, ³ 杏林大学病院熱傷センター, ⁴ 杏林大・医・呼吸器外科) : 重症気道熱傷後に慢性呼吸不全を呈した広範囲熱傷患者の作業療法. 第15回日本熱傷学会関東地方会, 四ッ谷, 平成18年1月27日.

講演

1. 深澤政富 : 全国救急救命士教育施設協議会シンポジウム「現在の救急救命士教育の実際と問題点」平成18年8月25日
2. 和田貴子 : 首都圏救急医療ミーティング「救急救命士の職種の可能性」平成18年9月2日

II. 論文

1. 鱸伸子, 柳澤厚生¹, 和田貴子, 山内亮子, 深澤政富, 小池秀海² (1 杏林大・保・医療コミュニケーション学, 2 杏林大・保・神経生理学) : 救急救命士課程学生のコミュニケーション技術向上のためのコーチング実習の導入. 日臨救医誌9 : 320-324, 2006

II. 著書

1. 和田貴子 : 循環モニター. 看護学大辞典 第2版. 和田攻, 南裕子, 小峰光博編. 東京. 医学書院. 2006. 頁一頁.
2. 深澤政富, 和田貴子 : 杏林大学における救急救命士教育の現状と課題. プレホスピタルケア 19巻4号. プレホスピタルケア編集委員会. 東京. 東京法令出版. 2006. P10-14
3. 鱸伸子¹, 山内亮子 : 救急隊員とコーチング. 救急医療ジャーナル. 平澤博之. 東京. プラネット. 2006. P76-80

III. その他

1. アンケート調査報告
岡本博照¹, 和田貴子 : 地域救急医療における女性医師・開業医師

の人材活用の可能性について、杏林大学医学部同窓会誌 第 49 号, P5,
平成 18 年 10 月

2. 全国救急救命士教育施設協議会定期総会会長
和田貴子. 平成 18 年 7 月 20、21 日. 東京

公衆衛生学

I. 口演

1. 照屋浩司、高安雅嗣、神津祐子、島田直樹¹、櫻井裕²、中村功³
(¹慶應大・医・衛生公衆衛生、²防衛医科大・衛生公衛、³相鉄診療所) : 複数回繰り返し血圧測定健康管理上の意義. 第 79 回日本産業衛生学会、仙台、平成 18 年 5 月 9~13 日.
2. 島田直樹¹、照屋浩司、櫻井裕²、宮川路子³、中村功⁴、大前和幸¹
(¹慶應大・医・衛生公衆衛生、²防衛医科大・衛生公衛、³法政大・人間環境、⁴相鉄診療所) : 職域におけるメタボリックシンドロームと生活習慣などとの関連. 第 79 回日本産業衛生学会、仙台、平成 18 年 5 月 9~13 日.
3. 櫻井裕¹、島田直樹²、照屋浩司、春木宏介¹、片桐朝美¹、山本泰輔¹、中村功³
(¹防衛医科大・衛生公衛、²慶應大・医・衛生公衆衛生、³相鉄診療所) : 睡眠時間とインシュリン抵抗性の関係. 第 78 回日本産業衛生学会、東京、第 79 回日本産業衛生学会、仙台、平成 18 年 5 月 9~13 日.
4. 岡本博照¹、武田伸郎¹、上村隆元¹、松井知子¹、市川佳居¹、深澤進次¹、照屋浩司、角田透¹
(¹杏林大・医・衛生公衆衛生) : 救急医師の勤務における交替制と非交替制による労働環境の差異について. 第 79 回日本産業衛生学会、仙台、平成 18 年 5 月 9~13 日.
5. 武田伸郎¹、岡本博照¹、松井知子¹、市川佳居¹、上村隆元¹、照屋浩司、角田透¹
(¹杏林大・医・衛生公衆衛生) : 事務系作業者の睡眠不足症候群にみられるストレス状況について. 第 13 回日本産業精神保健学会、東京、平成 18 年 6 月 2~3 日.
6. 岡本博照¹、武田伸郎¹、松井知子¹、市川佳居¹、上村隆元¹、照屋浩司、角田透¹
(¹杏林大・医・衛生公衆衛生) : 救急当直/夜勤に関わる医師の勤務前後でのストレス状況 (Stress Arousal Checklist 日本人版について). 第 13 回日本産業精神保健学会、東京、平成 18 年 6 月 2~3 日.
7. 照屋浩司 : 動脈硬化をどう診るか - Augmentation Index : AI, 脈波. 第 6 回日本 A S 学会、東京、平成 18 年 9 月 9 日.
8. 松井知子¹、大嶺智子²、岡本博照¹、武田伸郎¹、深澤進次¹、上村隆元¹、照屋浩司、竹前理映子¹、土田幸介¹、角田透¹
(¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²杏林大・保・養護教育) : 中学校におけるメンタルヘルスのアプローチスクリーニングテストの妥当性について - . 第 65 回日本公衆衛生学会総会、富山、平成 18 年 10 月 25~27 日.
9. 岡本博照¹、角田透¹、照屋浩司、武田伸郎¹、上村隆元¹、松井知

- 子¹、深澤進次¹、竹前理映子¹、土田幸介¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：地域救急医療における開業医師や女性医師の人材活用の可能性について．第65回日本公衆衛生学会総会、富山、平成18年10月25～27日．
10. 上村隆元¹、小川悟¹、古庄律²、角田透¹、照屋浩司、武田伸郎¹、松井知子¹、岡本博照¹、深澤進次¹、土田幸介¹、竹前理映子¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²東京農大短大・栄養）：難消化性レジスタントスターチを添加した飴菓子の食後血糖上昇抑制効果に関する検討．日本健康科学学会第22回学術大会、仙台、平成18年10月27～28日．
11. 上村隆元¹、能登真一²、David Feeny²、小川悟¹、角田透¹、照屋浩司、武田伸郎¹、松井知子¹、岡本博照¹、深澤進次¹、土田幸介¹、竹前理映子¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²新潟医療福祉大・医療技術・作業療法）：リハビリテーションが脳血管障害回復期患者にもたらす健康効用値改善と日本語版HUI3の測定特性．日本健康科学学会第22回学術大会、仙台、平成18年10月27～28日．
12. 土田幸介¹、竹前健彦¹、竹前理映子¹、松井知子¹、武田伸郎¹、深澤進次¹、岡本博照¹、上村隆元¹、照屋浩司、角田透¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：生活習慣と高齢者の口腔の健康度との関係について．日本健康科学学会第22回学術大会、仙台、平成18年10月27～28日．
13. 竹前理映子¹、上村隆元¹、照屋浩司、松井知子¹、岡本博照¹、土田幸介¹、武田伸郎¹、深澤進次¹、竹前健彦¹、角田透¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：歯科口腔ケアに関する意識調査と歯科医院への受診率．日本健康科学学会第22回学術大会、仙台、平成18年10月27～28日．
14. 小風暁¹、石川守¹、吉田正雄¹、増田由美¹、本名理恵¹、照屋浩司、高島豊¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：長寿関連ミトコンドリアDNA5178C/A多型と高血圧症との関連解析．第71回日本民族衛生学会総会、那覇、平成18年11月9～10日．
15. 松井知子¹、大嶺智子²、照屋浩司（¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²杏林大・保・養護教育）：不登校傾向にある児童・生徒への段階的予防への関わり第2報養護教諭とSCの連携について．第53回日本学校保健学会総会、高松、平成18年11月11-12日．
16. 小風暁¹、石川守¹、松永直美¹、佐藤正夫²、照屋浩司、増田由美¹、本名理恵¹、阿部淑子¹、高島豊¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²埼玉医大・保健医療・健康医療科学）：長寿関連ミトコンドリアDNA5178C/A多型と呼吸機能との関連解析．第17回日本疫学会学術総会、広島、平成19年1月26～27日．
17. 小風暁¹、石川守¹、吉田正雄¹、増田由美¹、本名理恵¹、佐藤正雄²、照屋浩司、高島豊¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²埼玉医大・保健医療・健康医療科学）：長寿関連ミトコンドリアDNA多型におけるコーヒー飲用と高血圧症との関係解析．第77回日本衛生学会総会、平成19年3月25～28日．

II. 論文

- 1 . Kokaze A¹, Ishikawa M¹, Matsunaga N¹, Yoshida M¹, Satoh M², Teruya K, Honmyo R¹, Yorimitsu M¹, Masuda Y¹, Uchida Y¹ & Takashima Y¹ (¹Dept. of Preventive Medicine & Public Health, Kyorin University School of Medicine, ²Dept. of Allergy and Immunology, Saitama Medical School): Longevity-associated NADH dehydrogenase subunit-2 237 Leu/Met polymorphism influences the effects of alcohol consumption on serum uric acid levels in nonobese Japanese men. *J. Hum. Genet.* 51: 765-771, 2006.
- 2 . Kokaze A¹, Ishikawa M¹, Matsunaga N¹, Yoshida M¹, Satoh M², Teruya K, Masuda Y¹, Honmyo R¹, Uchida Y¹ & Takashima Y¹ (¹Dept. of Preventive Medicine & Public Health, Kyorin University School of Medicine, ²Dept. of Allergy and Immunology, Saitama Medical School) : NADH dehydrogenase subunit-2 237 Leu/Met polymorphism modifies the effects of alcohol consumption on risk for hypertension in middle-aged Japanese men. *Hypertens. Res.* 30: 213-218, 2007.
- 3 . Shima Y¹, Teruya K & Ohta H¹ (¹Laboratory of Biochemistry, Kyorin University Faculty of Health Sciences) : Association between intronic SNP in urate-anion exchanger gene, SLC22A12, and serum uric acid levels in Japanese. *Life Sciences* 79 (23) : 2234-2237.

Ⅲ . 著書

- 1 . 照屋浩司 : 健康寿命を延ばそう 高齢期をいきいき過ごすための運動・食事と医学知識. 小林修平監修/NPO法人日本健康運動指導士会編. 東京、第一出版、2006.
- 2 . 照屋浩司 : Ⅱ - Ⅱ - 3. 身体活動、運動. エssenシャル社会・環境と健康 (第 2 版) . 高島豊、櫻井裕編. 東京、医歯薬出版、2007. p. 114-119.
- 3 . 照屋浩司 : Ⅱ - Ⅱ - 4. 喫煙行動. エssenシャル社会・環境と健康 (第 2 版) . 高島豊、櫻井裕編. 東京、医歯薬出版、2007. p.119-126.
- 4 . Kokaze A¹, Ishikawa M¹, Matsunaga N¹, Yoshida M¹, Makita R², Satoh M³, Teruya K, Sekiguchi K¹, Masuda Y¹, Harada M¹, Uchida Y¹ & Takashima Y¹ (¹Dept. of Preventive Medicine & Public Health, Kyorin University School of Medicine, ²Dept. of General Medicine, Kyorin University School of Medicine, ³Dept. of Allergy and Immunology, Saitama Medical School): Overview of longevity-associated mitochondrial DNA 5178 C/A polymorphism and a discussion of its modulation of the effects of habitual smoking on serum total and LDL cholesterol levels in middle-aged Japanese men. In: Woods CR ed. *Trends in DNA Research*. Nova Science, New York, 2006. p. 33-51.

精神保健学教室

I. 口演

1. 田島治：社会不安障害(SAD)の診断と治療．南大阪 SAD(社会不安障害)フォーラム，大阪，平成18年4月20日．
2. 田島治：SAD(社会不安障害)の診断と治療．第4回栃木身体疾患と不安・抑うつ研究会，栃木，平成18年4月22日．
3. 田島治：日常診療における不安・うつの診断と対処法について．藤沢市医師会内科医会，神奈川，平成18年4月26日．
4. 田島治：SSRIの功罪．第102回日本精神神経学会総会，福岡，平成18年5月12日．
5. 田島治：OCD関連障害をめぐって～とくにセロトニンの脳内作用との関連．第102回日本精神神経学会総会，福岡，平成18年5月13日．
6. 田島治：気分障害の診断と治療における最近の話題．広島市精神科医会学術講演会，広島，平成18年5月23日．
7. Tajima O：The Diagnosis of Depression in Japan. Fourth Pfizer Asia Neuroscience Forum, China, June. 16-18, 2007.
8. 田島治：SSRIの功罪．トレドミンフォーラム，旭化成ファーマ学術グループ，東京，平成18年6月23日．
9. 田島治：SSRIの功罪．ミルナシプランフォーラム，旭化成ファーマ学術グループ，東京，平成18年6月27日．
10. 田島治：抗うつ薬をめぐり最近の話題とセルトラリンの位置付け．ジェイゾロフト新発売記念講演会，千葉，平成18年7月6日．
11. 田島治：社会不安障害の診断と治療．武蔵野市医師会学術講演会，東京，平成18年7月26日．
12. 田島治：うつ病入門講座－うつ病を知る 模擬患者の面接を通して．第3回に本うつ病学会総会セミナー，東京，平成18年7月28日位置．
13. 田島治：社会不安障害(SAD)－薬物治療の実際－．朝日臨床医学セミナー，東京，平成18年7月29日．
14. 田島治：SAD(社会不安障害)見逃されていた不安障害の診断と治療のポイント．藤沢市精神科医会学術講演会，神奈川，平成18年9月6日．
15. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題とセルトラリンの位置付け．ジェイゾロフト発売記念講演会，大阪，平成18年9月16日．
16. 田島治：SSRIの効果と安全性を巡る最近の話題．第2回多摩田園臨床精神医学研究会，東京，平成18年9月22日．
17. 田島治：SSRIの効果と安全性を巡る最近の話題．第1回武蔵野地域精神科診療所研究会，東京，平成18年9月25日．
18. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題とセルトラリンの位置付け．新薬発売記念講演会，東京，平成18年9月28日．
19. 田島治：GADの薬物治療法－最近の動向とタンドスピロンの位置付け－．セディール新発売記念講演会，新潟，平成18年10月3日．

20. 田島治：抗うつ薬の最近の話題．日本精神科病院協会学術研究会，青森，平成18年10月5日．
21. 田島治：社会不安障害(SAD)の薬物治療と認知行動療法．第6回日本認知療法学会学術総会，東京，平成18年10月7日．
22. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題とセルトラリンの位置付け．学術講演会，福島，平成18年10月10日．
23. 田島治：精神医療の静かな革命－新規抗うつ薬・非定型向精神病薬の真実について－．第9回湘南精神薬理談話会，神奈川，平成18年10月14日．
24. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題とセルトラリンの位置付け．横浜ジェイゾロフト発売記念講演会，横浜，平成18年10月17日．
25. 田島治：社会不安障害の薬物療法について．第8回多摩精神薬理研究会，東京，平成18年10月20日．
26. 田島治：抗うつ薬の光と影．第16回日本臨床精神神経薬理学会，福岡，平成18年10月26日．
27. 田島治：SSRIによる中枢刺激症状とSuicidalityについて，第16回日本臨床精神神経薬理学会，福岡，平成18年10月26日．
28. 田島治：SAD(社会不安障害)～見逃されていた不安障害の診断と治療のポイント～．第19回山口県うつ病治療研究会，山口，平成18年10月28日．
29. 田島治：社会不安障害(SAD)と引きこもり．全国引きこもり家族会～支援者代表交流・研修大会，名古屋，平成18年11月4日．
30. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題．第15回東京心療内科研究会，東京，平成18年11月18日．
31. 田島治：社会不安障害の診断と治療－最近の話題－．静岡県東部精神科医会，静岡，平成18年11月20日．
32. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題とセルトラリンの位置付け．ジェイゾロフト新発売記念講演会，東京，平成18年11月24日．
33. 田島治：SSRIの中枢刺激症状とSuicidalityについて．GSK本社研修会，東京，平成18年11月27日．
34. 田島治：アクチベーションシンドロームについて．ミルナシプランフォーラム，東京，平成18年11月29日．
35. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題とセルトラリンの位置付け．ジェイゾロフト新発売記念講演会，秋田，平成18年11月10日．
36. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題．第2回山梨県精神科医会研究会，山梨，平成18年12月6日．
37. 田島治：スタッフのメンタルヘルスについて．社会福祉法人にじの会研修会，東京，平成18年12月28日．
38. 田島治：心理士に必要な薬物療法の知識－知っておきたい精神科の薬の効果と副作用－．横浜認知療法研究会，横浜，平成19年1月14日．
39. 田島治：日常診療に役立つ精神疾患へのアプローチ．西東京医師会学術講演会，東京，平成19年1月16日．
40. 田島治：統合失調症の薬物療法．武蔵野 Psychiatrists

Meeting , 東京, 平成19年1月18日.

41. 田島治：ストレス社会を生き抜くために－希望格差社会の不安とうつを乗り越える－. 第5回東大和市医師会市民講座, 東京, 平成19年1月20日.
42. 田島治：うつ病への理解と対処法. こころの健康づくりセミナー, 愛知, 平成19年1月21日.
43. 田島治：一般治療に役立つ精神科領域のはなし. アステラス学術講演会, 静岡, 19年1月27日.
44. 田島治：双極性障害の薬物療法. 第13回都民講演会, 東京, 平成19年2月4日.
45. 田島治：精神障害とは. 精神保健ボランティア講座, 東京, 平成19年2月7日.
46. 田島治：うつ病・不安障害の薬物療法. MD(軽症うつ病)研究会北海道支部札幌圏研修会, 札幌, 平成19年3月3日.
47. 田島治：社会不安障害の診断と治療. 府中医師会学術講演会, 東京, 平成19年3月9日.
48. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題. 第109回日本心身医学会関東地方会, 東京, 平成19年3月10日. 田島治：
49. うつ病は本当に増えたか. 第?回日本社会精神医学会総会, 横浜, 平成19年3月22日.
50. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題とセルトラリンの位置付け. ファイザー製薬社員研修会, 東京, 平成19年3月22日.

II. 論文

1. 田島治：OCSD(obsessive-compulsive spectrum disorders)の臨床的意義とSSRI. 精神神経学雑誌. 109:158-161,2007.
2. 辻敬一郎, 田島治：日本の抗うつ薬開発は遅れている. 医学の歩み 13: : 937-942,2006.
3. 辻敬一郎, 田島治：抗うつ薬とSSRIをめぐって－自殺発現との関連をめぐる論争－. 心療内科 10: 398-402,2006.
4. 辻敬一郎, 田島治：気分障害における攻撃性と衝動性. 精神科治療学 21: 945-952,2006.
5. 辻敬一郎, 田島治：特殊条件下の抗うつ薬の用量－新規抗うつ薬を中心に－. 臨床精神薬理 9: 605-614,2006.
6. 辻敬一郎, 田島治：気分障害における自殺と薬物療法のあり方. 臨床精神薬理 9: 1545-1552,2006.
7. 辻敬一郎, 田島治：ベンゾジアゼピンの依存と離脱症状. 臨床精神医学 35: 1669-1674,2006.
8. 田島治：社会(社交)不安障害・治療学. 臨床精神医学 35: 821-828,2006.
9. 田島治：パニック障害の治療における抗不安薬の位置付けと使い方. 最新医学・別冊新しい診断と治療のABC 40: 191-198,2006.
10. 辻敬一郎, 田島治：躁うつ病治療薬. 医薬ジャーナル 43: 286-293,2006.
11. 辻敬一郎, 田島治：うつ病と疼痛に対する薬物療法. 臨床精神薬

理 10 : 219-225, 2006.

12. 田島治 : うつ病治療の将来 . 成人病と生活習慣病 36 : 337-341, 2006.
13. 辻敬一郎 , 田島治 : 抗うつ薬と自殺 . Depression Frontier 2 : 46-50, 2006.

III . 著書

1. 辻敬一郎 , 田島治 : 臨床試験 . チーム医療のための最新精神医学ハンドブック . 大野裕編 , 東京 , 弘文堂 , 2006 . p. 464-465.
2. 田島治 : 精神医療の静かな革命 . 東京 , 勉誠出版 , 2006.
3. 田島治 : パニック障害の治療における抗不安薬の位置付けと使い方 . 新しい診断と治療の ABC . 竹内龍雄編 . 東京 , 最新医学社 , 2006 . p . 191-198.
4. 辻敬一郎 , 田島治 : 抗うつ薬の薬理と臨床効果 . 抗不安薬・睡眠薬・抗うつ薬・気分安定薬の使い方 . 上島国利監修 , 東京 , アルタ出版 , 2006 . p. 31-38.
5. 辻敬一郎 , 田島治 : 抗うつ薬の薬理と臨床効果 . 抗不安薬・睡眠薬・抗うつ薬・気分安定薬の使い方 , 島国利、窪木富房編 . 東京、アルタ出版、2006 . p. 31-38
6. 辻敬一郎 , 田島治 : 気分安定薬の薬理と臨床効果 . 抗不安薬・睡眠薬・抗うつ薬・気分安定薬の使い方 . 上島国利監修 , 東京 , アルタ出版 , 2006 . p. 39-44.
7. 辻敬一郎 , 田島治 : 臨床試験 . チーム医療のための最新精神医学ハンドブック 464-465, 2006.

IV . その他

1. 田島治 : うつ病～軽症・中等症の治療～ . MEDICAMENT NEWS, ライフサイエンス , 2006 . p. 22-24.
2. 田島治 : 社会不安障害 . 保健ニュース , 少年写真新聞社 , 2006 . p. 2-3.
3. 田島治 : 社会不安障害 . 保健ニュース , 少年写真新聞社 , 2006 . p. 2-3.
4. 田島治 : 社会不安障害 . 保健ニュース , 少年写真新聞社 , 2007 . p. 2-3.
5. 田島治 : 不安障害の表現型の異種性—様な治療でよいのか— . Psychiatry Today , 18th European College of Neuropsychopharmacology, 14-16, 2006.
6. 田島治 : 科学の概観をまとったグローバル・ビジネスと SSRI を巡る論争 . 精神看護 3 : 78-81, 2006.
7. 辻敬一郎 , 田島治 : 自殺関連事象につながる中枢刺激様症状 . 日経メディカル 35 : 172-173, 2006.

臨床生理学・医用応用工学教室

I. 口演（学会等）

1. 石山陽事（講習会）：計測診断機器（脳波計，筋電計，呼吸機器等）の概要と管理技術．第1種ME講習会，東京，平成18年4月9日．
2. 三谷博子，石山陽事：乳幼児を対象とした無拘束モニタの基礎的研究．日本医工学治療学会第22回学術大会，福岡，平成18年4月21-23日．
3. 三谷博子，石山陽事： κ 律動の振幅分布と位相差に関する基礎的検討．：第45回日本生体医工学学会，福岡，平成18年5月15-17日．
4. 石山陽事：睡眠と睡眠異常（特に睡眠時無呼吸症候群）第1回：概日リズムと生体時計．八王子いちょう塾，八王子，平成18年6月6日．
5. 石山陽事：睡眠と睡眠異常（特に睡眠時無呼吸症候群）第2回：睡眠の種類とその特徴．八王子いちょう塾，八王子，平成18年6月14日．
6. 石山陽事：睡眠と睡眠異常（特に睡眠時無呼吸症候群）第3回：睡眠時無呼吸症候群等の睡眠障害．八王子いちょう塾，八王子，平成18年6月28日．
7. 山崎志保，三谷博子，石山陽事：睡眠時無呼吸症候群（SAS）の在宅型検出センサによる型判定パラメータに関する基礎的検討．第22回ライフサポート学会（第4回日本生活支援工学系学会連合大会），千葉，平成18年9月11-13日．
8. 石山陽事（講習会）：修理業への期待．厚生労働大臣指定修理業責任者技術専門講習会，（財）医療機器センター，東京，平成18年9月20日
9. 今井 正¹，柴田明佳¹，高濱真紀子¹，熊谷佑子¹，ホセ由江¹，横尾智子²，半藤厚司²，川西美代子²，三谷博子，石山陽事（¹東京文化短期大学，²東京文化医学技術）：手掌と指末より記録した交感神経皮膚反応（SSR）の比較検討．第53回日本臨床検査医学会，弘前，平成18年11月9-11日．
10. 山崎志保，三谷博子，石山陽事：睡眠時無呼吸症候群（SAS）検出モニタのSSR同時記録の有用性について．第53回日本臨床検査医学会，弘前，平成18年11月9-11日．
11. 三谷博子，石山陽事：脳波検査における α 波と κ 波の違いについて：特に κ 律動の基礎的検討．第53回日本臨床検査医学会，弘前，平成18年11月9-11日．
12. 石山陽事：ペーパーレス脳波計に関するME技術．第36回日本臨床神経生理学会，教育講演3，横浜，平成18年11月29-12月1日．
13. 三谷博子，石山陽事：吸気刺激による交感神経皮膚反応（SSR）の基礎的検討．第36回日本臨床神経生理学会，横浜，平成18年11月29-12月1日．
14. 三谷博子：交感神経皮膚反応SSRについて．第36回日本臨床神

経生学会，教育講演 33，横浜，平成 18 年 11 月 29-12 月 1 日。

15. 小口綾香，丸山紘明，三谷博子，石山陽事：乳幼児突然死症候群（SIDS）検出を目的とした無拘束型 SIDS 検出装置開発の基礎的検討．八王子産学公連機構 第 6 回研究成果等発表講演会 はちおうじ企業・地域活性化アイデア発表会，八王子，平成 18 年 12 月 9 日．
16. 末永啓，手塚尚美，三谷博子，石山陽事：睡眠時無呼吸症候群（SAS）の型判定まで可能な在宅型指先センサの開発に関する基礎的検討．八王子産学公連機構 第 6 回研究成果等発表講演会 はちおうじ企業・地域活性化アイデア発表会，八王子，平成 18 年 12 月 9 日．
17. 石山陽事：脳波検査とその周辺技術．第 394 回福岡臨床と脳波懇話会，特別講演，福岡，平成 19 年 1 月 17 日．
18. 三谷博子，石山陽事：交感神経皮膚反応（SSR）電位の生理学的検討．第 17 回日本病態生理学会，那覇，平成 19 年 1 月 27-28 日．

II. 論文

1. 今井 正¹，柴田明佳¹，高濱真紀子¹，熊谷佑子¹，保瀬由江¹，横尾智子²，半藤厚司²，河西美代子²，三谷博子，石山陽事（¹東京文化短期大学，²東京文化医学技術）：手掌と指末より記録した交感神経皮膚反応（SSR）の比較検討．東京文化短期大学紀要 24：47-51，2007.
2. Mitani H, Ishiyama Y: Estimation of visual brainstem-evoked potential using pattern reversal stimulation. Clin Neurophysiol 117:2007

III. 著書（電子メディアも含む）

1. 石山陽事（分担）：第 11 章電気，臨床検査学講座 物理学．医歯薬出版，2006. P95-132
2. 石山陽事（分担）：第 3 章 電子回路，臨床検査学講座 医用工学概論．医歯薬出版，2006. P65-96
3. 石山陽事：「第 1 種 ME 技術実力検定試験」講習会テキスト，第 4 章脳波関連機器，編集委員長小野哲章，東京，（社）日本生体医工学会 ME 技術教育委員会，2006. P. 205-231

IV. その他（報告書，監修，翻訳，学会主催等）

1. 石山陽事（分担）：第 12 回第 1 種 ME 技術実力検定試験問題解説集，日本医工学 ME 技術教育委員会監修，2006.
2. 石山陽事（分担）：平成 18 年度医療機器修理業責任技術者専門講習会
テキスト（第 2 区分生体现象計測・監視システム関連），医療機器センター，2006.
3. 石山陽事：神経機能検査．臨床検査 50：1695-1700，2006.

4. 石山陽事：脳波アドバンスコース1．ME 技術の進歩．第 2 回「臨床神経生理技術講習会・東京」テキスト，111-142，2006.
5. 石山陽事：編集後記．Clinical Engineering 18：118，2007.
6. 石山陽事：2．脳波検査 A.脳波検査の基本的知識 b．脳波計の操作法．神経内科 65：19-32，2006.
7. 石山陽事：神経整理検査に必要な医用工学の基礎知識．医学検査 55：89-102，2006.

先端臨床工学研究室

口演

1. 中島章夫：臨床工学技士の教育について．第 33 回日本血液浄化技術研究会学術大会，東京，平成 18 年 4 月 15 日．
2. 福長一義，小玉彰広 1，舟久保昭夫 1，福井康裕 1（1 東京電機大・理工）：虚脱血管回復時間の提案と動脈硬化検査法への応用．第 45 回日本生体医工学会大会，福岡，平成 18 年 5 月 15-17 日．
3. 小暮宗史 1，本間章彦 2，福長一義，福井康裕 1，巽英介 2，妙中義之 2（1 東京電機大・理工，2 国立循環器・研究所・人工臓器）：人工臓器の埋め込みシミュレーション．第 45 回日本生体医工学会大会，福岡，平成 18 年 5 月 15-17 日．
4. 坂根由美 1，住倉博仁 2，福長一義，矢口俊之 1，舟久保昭夫 1，福井康裕 1（1 東京電機大・理工，2 東京電機大・フロンティア）：CFD を用いたエンクローズド型動圧浮上軸流血液ポンプにおける血液適合性に関する検討．第 45 回日本生体医工学会大会，福岡，平成 18 年 5 月 15-17 日．
5. 高橋直美 1，小柳桂 1，矢口俊之 1，福長一義，舟久保昭夫 1，河村剛史 2，福井康裕 1（1 東京電機大・理工，2 河村循環器病クリニック）：ポンプ一体式植込型人工肺に関する研究．第 45 回日本生体医工学会大会，福岡，平成 18 年 5 月 15-17 日．
6. 住倉博仁 1，福長一義，舟久保昭夫 2，福井康裕 2（1 東京電機大・フロンティア，2 東京電機大・理工）：動圧軸受を用いたエンクローズド型軸流血液ポンプの改良と *in vitro* 性能評価．第 45 回日本生体医工学会大会，福岡，平成 18 年 5 月 15-17 日．
7. 矢口俊之 1，野中一洋 1，岩渕惣一郎 1，福長一義，舟久保昭夫 1，大越隆文 2，野一色泰晴 3，福井康裕 1（1 東京電機大・理工，2 津田沼中央総合病院，3 横浜市立大学・医・人工臓器）：繊維製 Scaffold により構築された小口径人工血管の *in-vivo* 評価に関する研究．第 45 回日本生体医工学会大会，福岡，平成 18 年 5 月 15-17 日．
8. 河野徹 1，福長一義，矢口俊之 1，舟久保昭夫 1，山家智之 2，福井康裕 1（1 東京電機大・理工，2 東北大学・加齢医学・病態計測制御）：リニアアクチュエータ駆動心室補助装置の開発に関する研究．第 45 回日本生体医工学会大会，福岡，平成 18 年 5 月 15-17 日．

9. Kono T1, Fukunaga K, Yaguchi T1, Funakubo A1, Fukui Y1(1School of Science and Engineering, Tokyo Denki University): Development of an Artificial Myocardium Driven by a Linear Actuator. ASAI0' s 52nd Ann. Conf., Chicago, June7-9, 2006.
10. Sumikura H1, Fukunaga K, Funakubo A2, Fukui Y2(1Frontier R&D Center, Tokyo Denki University, 2School of Science and Engineering, Tokyo Denki University): Improvement and Evaluation of an Enclosed-Impeller Type Axial Flow Blood Pump with Hydrodynamic Conical Bearings. ASAI0' s 52nd Ann. Conf., Chicago, June7-9, 2006.
11. 中島章夫：教科書選定の現状．(社)日本臨床工学技士会主催 第5回日本臨床工学技士教育研究会，仙台，平成18年8月5日．
12. Sakane Y1, Sumikura H2, Fukunaga K, Yaguchi T1, Funakuo A1, Fukui Y1(1School of Science and Engineering, Tokyo Denki University, 2Frontier R&D Center, Tokyo Denki University): Computational Fluid Dynamics Analysis on Hemocompatibility of an Enclosed-Impeller Type Axial Flow Blood Pump with Hydrodynamic Conical Bearings. 14th Congress of ISRBP, Leuven, August 31- September 2, 2006
13. Sumikura H1, Fukunaga K, Funakubo A2, Fukui Y2(1Frontier R&D Center, Tokyo Denki University, 2School of Science and Engineering, Tokyo Denki University): In Vitro Characterization of an Enclosed-Impeller Type Axial Flow Blood Pump with Hydrodynamic Conical Bearings. 14th Congress of ISRBP, Leuven, August 31- September 2, 2006
14. 岩淵惣一郎 1, 舟久保昭夫 1, 矢口俊之 1, 野中一洋 1, 大越隆文 2, 福長一義, 住倉博仁 3, 野一色泰晴 4, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 津田沼中央総合病院, 3 東京電機大・フロンティア, 4 横浜市立大学・医・人工臓器) : エレクトロスピンニング法による Scaffold の作製と評価に関する研究．第9回日本組織工学会，京都，平成18年9月7-8日．
15. 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 渡部修一 1, 牧野雄太 1, 大越隆文 2, 福長一義, 住倉博仁 3, 野一色泰晴 4, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 津田沼中央総合病院, 3 東京電機大・フロンティア, 4 横浜市立大学・医・人工臓器) : 繊維性 Scaffold における画像解析を用いた構造評価方法に関する研究．第9回日本組織工学会，京都，平成18年9月7-8日．
16. 住倉博仁 1, 坂根由美 2, 福長一義, 矢口俊之 2, 舟久保昭夫 2, 福井康裕 2 (1 東京電機大・フロンティア, 2 東京電機大・理工) : 動圧軸受を用いたエンクローズド型軸流血液ポンプの開発．第4回生活支援工学系学会連合大会，野田，平成18年9月11-13日．
17. 岩淵惣一郎 1, 矢口俊之 1, 野中一洋 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 舟久保昭夫 1, 大越隆文 3, 野一色泰晴 4, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 津田沼中央総合病院, 4

横浜市立大学・医・人工臓器) : ハイブリッド人工肺への応用を目指した Scaffold シートの基礎評価に関する研究. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.

18. 野中一洋 1, 矢口俊之 1, 岩渕惣一郎 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 舟久保昭夫 1, 大越隆文 3, 野一色泰晴 4, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 津田沼中央総合病院, 4 横浜市立大学・医・人工臓器) : エレクトロスピンニング法を用いた繊維性 Scaffold の作製に関する研究. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.
19. 矢口俊之 1, 渡部修一 1, 牧野雄太 1, 舟久保昭夫 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 大越隆文 3, 野一色泰晴 4, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 津田沼中央総合病院, 4 横浜市立大学・医・人工臓器) : 画像処理を用いた細胞挙動の自動解析に関する研究. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.
20. 小前暁宣 1, 福長一義, 矢口俊之 1, 住倉博仁 2, 舟久保昭夫 1, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア) : 人工心臓血液接触面の SPU-Scaffold による表面修飾. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.
21. 小玉彰広 1, 福長一義, 住倉博仁 2, 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア) : 虚脱血管回復時間の提案による動脈壁の硬化度指標の検討. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.
22. 河野徹 1, 福長一義, 住倉博仁 2, 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 山家智之 3, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 東北大学・加齢医学・病態計測制御) : リニアアクチュエータ駆動心室補助装置の開発に関する研究. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.
23. 山田智仁 1, 河野徹 1, 福長一義, 住倉博仁 2, 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 山家智之 3, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 東北大学・加齢医学・病態計測制御) : リニアアクチュエータ駆動心室補助装置の駆動制御に関する研究. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.
24. 鐘ヶ江康弘 1, 住倉博仁 2, 坂根由美 1, 福長一義, 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア) : エンクローズド型軸流血液ポンプ用円錐型動圧軸受の改良と評価. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.
25. 小柳桂 1, 高橋直美 1, 矢口俊之 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 舟久保昭夫 1, 河村剛史 3, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 河村循環器病クリニック) : ポンプ一体式植込型人工肺の最適化に関する研究. 第 4 回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成 18 年 9 月 11-13 日.
26. 野坂康夫 1, 紺来拓巳 1, 舟久保昭夫 1, 小森栄作 2, 佐藤耕司郎 3, 福長一義, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 国立四国がんセ

ンター, 3 富士システムズ) : 完全液体呼吸用人工肺の開発および評価に関する研究. 第4回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成18年9月11-13日.

27. 中野愛美 1, 舟久保昭夫 1, 矢口俊之 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 福井康裕 11 (東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア) : 多目的遺伝アルゴリズムを用いた熱交換器形状の最適化に関する研究. 第4回生活支援工学系学会連合大会, 野田, 平成18年9月11-13日.
28. 小柳桂 1, 高橋直美 1, 矢口俊之 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 舟久保昭夫 1, 河村剛史 3, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 河村循環器病クリニック) : 血液ポンプ一体式植込型人工肺の最適化に関する研究. 日本機械学会茨城講演会, 日立, 平成18年9月19日.
29. 山田智仁 1, 河野徹 1, 福長一義, 住倉博仁 2, 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 山家智之 3, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 東北大学・加齢医学・病態計測制御) : リニアアクチュエータ駆動心室補助装置の駆動制御に関する研究. 日本機械学会茨城講演会, 日立, 平成18年9月19日.
30. 中島章夫 : これからの求められる臨床工学技士とは. (社)日本臨床工学技士会主催 第1回臨床実習指導者講習会, 東京, 平成18年9月30日.
31. 中島章夫 : 臨床工学とME. 第30回東京電機大学ME講座(先端技術が開く医療と福祉の未来), 東京, 平成18年10月11日.
32. 住倉博仁 1, 福長一義, 矢口俊之 2, 舟久保昭夫 2, 福井康裕 2 (1 東京電機大・フロンティア, 2 東京電機大・理工) : 流体動圧軸受を応用したエンクローズド型軸流血液ポンプの開発. 電気学会リニアドライブ研究会, 東京, 平成18年10月26-27日.
33. 野坂康夫 1, 舟久保昭夫 1, 矢口俊之 1, 住倉博仁 1, 福井康裕 1, 小森栄作 2, 福長一義 (1 東京電機大・理工, 2 国立四国がんセンター) : 完全液体呼吸システムと制御に関する研究. 電気学会リニアドライブ研究会, 東京, 平成18年10月26-27日.
34. 河野徹 1, 福長一義, 住倉博仁 2, 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 山家智之 3, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 東北大学・加齢医学・病態計測制御) : 心室補助装置駆動用ボイスコイルモータの提案と推力解析. 第44回日本人工臓器学会大会, 横浜, 平成18年10月31日-11月2日.
35. 小前暁宣 1, 矢口俊之 1, 福長一義, 住倉博仁 2, 舟久保昭夫 1, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア) : 組織工学を用いた人工心臓の血液接触面構造の構築. 第44回日本人工臓器学会大会, 横浜, 平成18年10月31日-11月2日.
36. 福長一義, 塩田博之 1, 久保木芳徳 2, 関康夫 1, 舟久保昭夫 3, 福井康裕 3 (1 ハイレックスコーポレーション, 2 北海道大学・歯, 3 東京電機大・理工) : チタン不織布を用いた人工臓器ホルダの提案. 第44回日本人工臓器学会大会, 横浜, 平成18年10月31日-11月2日.

37. 住倉博仁 1, 福長一義, 舟久保昭夫 2, 福井康裕 2 (1 東京電機大・フロンティア, 2 東京電機大・理工) : 動圧軸受を用いたエンクローズド型軸流血液ポンプの特性と溶血性能. 第 44 回日本人工臓器学会大会, 横浜, 平成 18 年 10 月 31 日-11 月 2 日.
38. 野中一洋 1, 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 岩淵惣一郎 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 大越隆文 3, 野一色泰晴 4, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 津田沼中央総合病院, 4 横浜市立大学・医・人工臓器) : エレクトロスピング法を用いたセグメント化ポリウレタン Scaffold の作製. 第 44 回日本人工臓器学会大会, 横浜, 平成 18 年 10 月 31 日-11 月 2 日.
39. 矢口俊之 1, 渡部修一 1, 舟久保昭夫 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 大越隆文 3, 野一色泰晴 4, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 津田沼中央総合病院, 4 横浜市立大学・医・人工臓器) : 細胞組織工学における Scaffold 構造と細胞実験の定量的評価方法に関する研究. 第 44 回日本人工臓器学会大会, 横浜, 平成 18 年 10 月 31 日-11 月 2 日.
40. 高橋直美 1, 小柳桂 1, 矢口俊之 1, 福長一義, 舟久保昭夫 1, 河村剛史 2, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 河村循環器病クリニック) : ポンプ一体式植込型人工肺の最適化に関する研究. 第 44 回日本人工臓器学会大会, 横浜, 平成 18 年 10 月 31 日-11 月 2 日.
41. 中島章夫, 福長一義, 千葉慎 1, 平沢諭 1, 埜口武人 1, 岡崎誠 1 (1 日本工学院専門学校臨床工学科) : 臨床工学技士教育・研究における LabVIEW を用いた教材の検討. 第 35 回日本医療福祉設備学会, 東京, 平成 18 年 11 月 16 日.
42. 大西洋輔 1, 森尾浩志 1, 中島章夫 (1 日本工学院専門学校臨床工学科) : ME 機器管理構築の検討ー学内実習室機材のデータベース化ー. 東京, 第 35 回日本医療福祉設備学会, 平成 18 年 11 月 16 日.
43. 中島章夫 : 医療機器の安全な管理システムの基礎. (社)日本臨床工学技士会主催 第 4 回新卒者臨床工学技士講習会, 東京・大阪・福岡, 平成 19 年 1 月 14・21・28 日.
44. 野村勇介 1, 小柳桂 1, 高橋直美 1, 住倉博仁 2, 矢口俊之 1, 福長一義, 舟久保昭夫 1, 河村剛史 3, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア, 3 河村循環器病クリニック) : 横流式血液ポンプの流入口位置が性能に及ぼす影響に関する研究. 人と福祉を支える技術フォーラム, 東京, 平成 19 年 3 月 3 日.
45. 坂根由美 1, 住倉博仁 2, 福長一義, 矢口俊之 1, 舟久保昭夫 1, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア) : エンクローズド型軸流血液ポンプの開発. 人と福祉を支える技術フォーラム, 東京, 平成 19 年 3 月 3 日.
46. 福長一義, 塩田博之 1, 久保木芳徳 2, 関康夫 1, 舟久保昭夫 3, 福井康裕 3 (1 ハイレックスコーポレーション, 2 北海道大学・歯, 3 東京電機大・理工) : チタン不織布を用いた人工臓器ホルダの提案. 第 35 回人工心臓と補助循環懇話会プログラム, 水上, 平成 19 年 3 月 9-10 日.

47. 住倉博仁 1, 福長一義, 舟久保昭夫 2, 福井康裕 2 (1 東京電機大・フロンティア, 2 東京電機大・理工) : 流体動圧軸受を応用したエンクローズド型軸流血液ポンプの開発. 第 35 回人工心臓と補助循環懇話会プログラム, 水上, 平成 19 年 3 月 9-10 日.
48. 矢口俊之 1, 福長一義, 小前暁宣 1, 野中一洋 1, 住倉博仁 2, 舟久保昭夫 1, 福井康裕 1 (1 東京電機大・理工, 2 東京電機大・フロンティア) : 人工臓器への血液親和性付与を目的としたナノスケール Scaffold. 第 35 回人工心臓と補助循環懇話会プログラム, 水上, 平成 19 年 3 月 9-10 日.

論文

1. Asakawa Y1, Funakubo A1, Fukunaga K, Taga I2, Higami T3, Kawamura T4, Fukui Y1(1School of Science and Engineering, Tokyo Denki University, 2Frontier R&D Center, Tokyo Denki University, 3Shimane Medical University, 4Hyogo Prefecture Health Promotion Association): Development of an Implantable Oxygenator with Cross-Flow Pump. ASAIO J:291-295, 2006.

著書

1. 福長一義, 舟久保昭夫, 福井康裕 : 残響計測による補助人工心臓用血液ポンプのダイアフラムモニタリング. 超音波テクノ Vol.18 No.2, 東京, 日本工業出版, 2006. P. 40-44.
2. 中島章夫, 福長一義 : 杏林大学保健学部先端臨床工学研究室 医療に工学をもたらす医工連携の先兵臨床工学技士. Medical Academy News 第 997 号, 東京, 薬事日報社, 2007. P. 1.
3. 中島章夫 : 新しい脳腫瘍除去用レーザー手術システムの研究. Medical Academy News 第 1000 号, 東京, 薬事日報社, 2007. P. 2.
4. 中島章夫 : 杏林大学保健学部臨床工学科 (4 年制大学における患者本位の医療と臨床工学教育を両立した次世代のリーダー育成を目指して). Clinical Engineering Vol.18. 峯島三千男編. 東京, 秀潤社, 2007. p. 187-190.

その他

1. 増澤徹 1, 柿原功一 2, 福長一義 (1 茨城大・工, 2 イワキ) : 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会中間報告. 電気学会研究会資料 LD-06-62 : 75-78, 2006

医用情報工学教室

口演

1. 岡田洋二¹, 田中薫, 佐藤英助², 丘島晴雄¹ (1 杏林大・保健・分析化学、2 青森大・薬) : アリシンの抗酸化活性に関する研究－反応速度と抗酸化機構－. 日本薬学会 127 年会, 富山, 平成 18 年 3 月 28 日.

論文

1. Okada Y¹, Tanaka K, Sato E² and Okajima H¹ (1 Dept. of Analytical Chemistry, Kyorin Univ. Faculty of Health Sciences, 2 Aomori Univ. Faculty of Pharmaceutical Sciences): Kinetic and mechanistic studies of allicin as an antioxidant. *Org. Biomol. Chem.*, 4, 4113-4117, 2006.

生体機能代行装置学

口演

1. 長谷川弘、篠原佳彦、橋本隆男、木村里緒、松沢直輝、副島昭典、山田明：
血液透析によるチオール性アミノ酸の血漿中濃度変動。医療薬学教育研究シンポジウム、新宿、平成 18 年 3 月 12 日
2. 副島昭典：維持透析患者の貧血の治療－鉄の功罪。中外製薬社内講演会、新宿、平成 18 年 3 月 24 日
3. 磯部充久、横川彰朋、柴崎浩美、古田 隆、粕谷泰次、川嶋聡子、副島昭典、山田 明：腎での cortisol の不活化と腎疾患患者における 11 β -HSD 活性評価。126 回日本薬学会、仙台、平成 18 年 3 月 28 日
4. 副島昭典：維持透析患者の貧血と鉄剤－その病態の特殊性。（招請講演）第
一回白河地区透析療法勉強会、白河市、平成 18 年 6 月 1 日
5. 長谷川弘、木村里緒、松沢直輝、副島昭典、山田明、篠原佳彦、橋本隆男：
血液透析による血中ホモシステイン、システインの変動とその差異の機序。
第 49 回日本腎臓学会総会、新宿、平成 18 年 6 月 14 日
6. 副島昭典：維持透析患者の加齢現象はなぜ促進されるのか？－アルブミン分
子の構造転移とレドックス制御。（特別講演）第 7 回 vitamembrane 研究会、東京、平成 18 年 7 月 8 日
7. 副島昭典、大塚貴子、福岡利仁、中林公正、山田 明：尿中 L-FABP と尿中
transferrin による続発性尿細管間質障害の臨床評価。第 10 回腎間質

障害研究会、東京、平成 18 年 9 月 9 日

8. 鈴木祥史、松山幸枝、恵良聖一、副島昭典：腎機能低下による血漿 albumin

の還元化率の低下-維持透析例との比較-。第 18 回腎とフリーラジカル研究

会、つくば市、平成 18 年 9 月 23 日

10. 副島昭典：尿細管間質障害と尿中低分子量蛋白、尿中トランスフェリン及び

脂肪酸結合蛋白（L-FABP）の関係に関する研究。環境省 重金属等の健康影響

に関する総合研究報告会、東京、平成 18 年 10 月 5 日

論文

1. 副島昭典：2 CBT こあかりシュミレーション（分担執筆）。CBT こあかりシュミレーション編集委員会編、医学評論社、東京、2006

2. 副島昭典：第 100 回医師国家試験問題解説書（分担執筆）。医学評論社、東京、2006

3. 副島昭典、松澤直輝：保存期腎不全例への EPO 投与が尿中 transferrin 及び鉄排泄量に及ぼす影響。腎性貧血治療研究会平成 17 年度研究報告集、細谷龍男、他、編、2006

4. 福岡利仁、副島昭典：急性腎不全とフリーラジカル。医学のあゆみ別冊、フ

リーラジカル医学生物学の最前線 ver. 2 2006

5. Hayakawa S, Nakabayashi K, Karube M, Arimura Y, Soejima A, Yamada A, Fuzuioka Y: Tubulointerstitial immune complex nephritis in a patient with systemic lupus erythematosus: role of peritubular capillaritis with immune complex deposits in the pathogenesis of the tubulointerstitial nephritis. Clin Exp Nephrol 10: 146-151, 2006

6. 副島昭典：尿細管間質障害と尿中低分子量蛋白、尿中トランスフェリン及び

脂肪酸結合蛋白（L-FABP）の関係に関する研究。平成 18 年度 重金属等の健

康影響に関する総合研究報告書、独立行政法人 環境再生保全機構、2006

7. 副島昭典：1 CBT こあかりオリエンテーション第 2 版（分担執筆）。安田幸雄、松田重三、編、医学評論社、東京、2006

8. Endo T, Nakabayashi K, Sekiuchi M, Kuroda T, Soejima A, Yamada A: Matrix metalloproteinase-2, matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitor of metalloproteinase-1 in peripheral blood of patients with various glomerular diseases and their implication in pathogenetic lesions: study based on an enzyme-linked assay and immunohistochemical staining. Clin Exp Nephrol 10: 253-261, 2006.

9. 柴崎敏昭、飯田博行、上野光博、下条文武、小林正貴、副島昭典、田部井薫、長瀬博文、中村利孝、中村好一：平成18年度カドミウム非汚染地域腎機能障害実態調査。平成18年度環境省請負業務報告書、2006

循環器病態生理学

口演

1. 吉野秀朗、四倉正之、坂田好美、池田隆徳、加地英生：日常臨床における循環器Q & A
・第13回府中市医師会循環器勉強会。府中、平成18年6月19日。
2. 吉野秀朗、四倉正之、坂田好美、池田隆徳、加地英生：日常臨床における循環器Q & A
・第14回府中市医師会循環器勉強会。府中、平成18年10月16日。
3. 吉野秀朗、四倉正之、坂田好美、池田隆徳、加地英生：日常臨床における循環器Q & A
・第15回府中市医師会循環器勉強会。府中、平成19年2月19日。
4. 四倉正之：三鷹市医師会心電図勉強会。三鷹、平成18年4月27日、6月22日、8月4日、10月26日、12月21日、平成19年2月22日。

論文

1. 四倉正之：筋ジストロフィーの不整脈を測る。神経内科65: 32-37, 2006.
2. Tani ai S, Koide Y, Yotsukura M, Nishimura T, Kachi E, Sakata K, Yoshino H: A new application of the ST-HR loop to evaluate the exercise-induced reversible ischemia in healed anterior wall myocardial infarction. Am J Cardiol 98: 346-351, 2006.

著書

なし

その他

なし

母子看護・助産学教室

I. 口 演

1. 新垣相都¹ 熊谷裕奈¹ 石田梢¹ 山元有佳 佐藤喜美子 竹内千恵子（¹杏林大・保・看護学科）：大学生の月経随伴症状に関する検討 第1報 —PMSメモリーによる即時的記録を用いて— 第24回東京母性衛生学会，東京，平成18年5月21日．
2. 山元有佳 上原絵梨¹ 小田幸衣¹ 須藤詩織¹ 佐藤喜美子 竹内千恵子（¹杏林大・保・看護学科）：大学生の月経随伴症状に関する検討 第2報—生活習慣との関連から— 第24回東京母性衛生学会，東京，平成18年5月21日．
3. 太田ひろみ¹ 山元有佳 佐藤喜美子（¹杏林大・保・地域看護学）：多胎育児支援への取り組み．第24回東京母性衛生学会，東京，平成18年5月21日．
4. 太田ひろみ¹，佐藤喜美子，山元有佳（¹杏林大・保・地域看護学）：多胎育児サークル運営上の課題と保健師への期待 第8回日本地域看護学会学術集会 和光市，平成18年7月29-30日．
5. 丸山昭子，大関武彦¹，安梅勅江²（¹浜松医科大・医・小児科学，²筑波大・人間総合科学研究科）：母親のストレスと園児の気になる行動との関連—育児環境をふまえて— 第12回日本保育園保健学会，大阪，平成18年9月23-24日．
6. 太田ひろみ¹，佐藤喜美子，塚原洋子¹（¹杏林大・保・地域看護学）：多胎育児自主グループ間の連携への支援．第65回日本公衆衛生学会，富山，平成18年10月25-27日．
7. 大脇淳子：保育園に通園する年長幼児の服薬行動を促要因，第65回日本公衆衛生学会，富山，平成18年10月25-27日．
8. 市村香恵¹、高松清子¹、湊麻里¹、丸山昭子、橋本佳美（¹杏林大・保・看護学科）：幼児前期の不慮の事故—母親の自己への注意と予防の調査．第53回日本小児保健学会，山梨，平成18年10月26-28日．
9. 太田ひろみ¹，佐藤喜美子，加藤昌代¹、塚原洋子¹（¹杏林大・保・地域看護学）：乳幼児を持つ父親への育児学習支援．第53回日本小児保健学会，山梨，平成18年10月26-28日．
10. 橋本佳美、武市洋美¹、平澤美恵子²、新田真弓²、長内佐斗子³、村上睦子³（¹桶谷母乳育児研修センター、²日赤看護大、³日赤医療センター）：多胎児に対する母乳育児支援 —母児の健康状態とNICU退院時の栄養方法の実態から— 第53回日本小児保健学会，山梨，平成18年10月26-28日．
11. 丸山昭子，大関武彦¹，安梅勅江²（¹浜松医科大・医・小児科学，²筑波大・人間総合科学研究科）：保育園を利用する母親のストレスと育児環境、育児に対する自信との関連性．第53回日本小児保健学会，山梨，平成18年10月26-28日．
12. Suzuki E¹，Maruyama A，Sleyman K¹，Kanoya Y²，Katsuk

i T³, Sato C⁴ (¹Department of Nursing, Tenshi College, ²Course of Community Health Nursing, School of Nursing, Yamagata University, ³Department of Nursing of Jobu University, ⁴Department of Analytical Health Science, Graduate School of Health Sciences, Tokyo Medical and Dental University: A cohort study on factors affecting early resignation of novice nurses in university hospitals. The 3rd Nursing Management Conference, Turkey, Nov.9-11, 2006.

13. 鈴木麻美¹ 山元有佳 高橋宗良² 西村伸大³ (¹杏林大・保・成人高齢者看護学 ²杏林大・保・救命救急 ³杏林大・保・臨床血液学) : ラベンダーオイルを用いた芳香が状態不安および作業効率に及ぼす影響. 第9回日本アロマセラピー学会総会, 大宮, 平成18年11月3-4日.

14. 山元有佳, 佐藤喜美子, 太田ひろみ¹ (¹杏林大・保・地域看護学) : 多胎育児支援への取り組み. 第47回日本母性衛生学会学術総会, 名古屋, 平成18年11月9-10日.

15. 佐々木裕子, 佐藤喜美子 : 保育園に子どもを預けて働く母親の育児休業利用状況とその背景. 第47回日本母性衛生学会学術集会, 名古屋, 平成18年11月9-10日.

16. 金泉志保美¹, 永田悦子², 柴田眞理子 (¹群馬大学・²上武大学) : 乳児後期の生活リズムについて一妊娠中に行った健康教育後の追跡調査一, 第47回日本母性衛生学会学術総会, 名古屋, 平成18年11月9-10日.

17. 太田ひろみ¹, 佐藤喜美子, 山元有佳 (¹杏林大・保・地域看護学) : 多胎育児支援へのニーズと実際. 第21回日本双生児研究学会, 平成19年1月27日.

II 論文

1. 黄川田美玲¹, 安梅勅江², 丸山昭子, 田中裕³, 酒井初恵⁴, 宮崎勝宣⁵ (¹医療法人栄美会, ²筑波大・人間総合科学研究科, ³治田西カナリヤ第三保育園, ⁴小倉北ふれあい保育所, ⁵路交館) : 保育園を利用する4歳児の発達への複合的な関連要因に関する研究一母親のストレスに焦点をあてて一. 日本保健福祉学会誌12(2) : 15-24, 2006.

2. 丸山昭子, 大関武彦¹, 安梅勅江² (¹浜松医科大・医・小児科学, ²筑波大・人間総合科学研究科) : 保育園を利用する2歳児の発達・社会適応・問題行動・健康状態への複合的な関連要因一母親のストレスに焦点をあてて一. 厚生指標 53(6) : 24-33, 2006.

3. 安梅勅江¹, 篠原亮次², 杉澤悠圭², 田中裕³, 酒井初恵⁴, 宮崎勝宣⁵, 丸山昭子 (¹筑波大・人間総合科学研究科, ²国立看護大学校研究過程部, ³治田西カナリヤ第三保育園,

- ⁴小倉北ふれあい保育所, ⁵豊新聖愛園) : 学童期の心身の健康に関連する幼児期の環境要因に関する研究—家庭環境と保育時間に焦点をあてて—. 日本保健福祉学会誌 13(1) : 15-24, 2006.
4. 三砂ちづる¹, 竹原健二², 岡井崇³, 戸田律子⁴, 北井啓勝⁵, 林公一⁶, 柴田眞理子⁷, 尾島俊之⁸, 中村好一⁸ (1津田塾大学・2国立保健医療科学学院・3昭和大学・4NPO 法人いいお産プロジェクト・5埼玉社会保険病院・6関門医療センター・7杏林大学・8自治医科大学) : 日本の赤ちゃんは出産後に母子同室で過ごしているか～産婦人科医と助産師を対象とした横断的研究より～. 母性衛生 47(2) : 448-454, 2006.
5. 柴田眞理子¹, 尾島俊之², 中村好一² (1杏林大学・2自治医科大学) : 快適な妊娠・出産における分娩期の体位に関する産婦人科医の考え方及び実態に関する研究 上武大学看護学部紀要 1 : 1-15, 2006.
6. 金泉志保美¹, 永田悦子², 柴田眞理子³ (1群馬大学・2上武大学・3杏林大学) : 妊娠中に行う母親と子どもの生活リズムに関する健康教育 上武大学看護学部紀要 1 : 35-50, 2006.
7. 安梅勅江¹, 篠原亮次², 杉澤悠圭², 丸山昭子, 田中裕³, 酒井初恵⁴, 宮崎勝宣⁵, 西村真実⁶ (1筑波大・人間総合科学研究科, 2国立看護大学校研究過程部, 3治田西カナリヤ第三保育園, 4小倉北ふれあい保育所, 5路交館, 6奈良佐世保短大) : 子どもの発達の全国調査にもとづく園児用発達チェックリストの開発に関する研究. 厚生指標 54(1) : 36-41, 2007
8. 安梅勅江¹, 丸山昭子, 田中裕², 酒井初恵³, 宮崎勝宣⁴ (1筑波大・人間総合科学研究科, 2治田西カナリヤ第三保育園, 3小倉北ふれあい保育所, 4路交館) : 母親のストレスの子育ち環境と子どもの発達との複合的な関連性—保育園を利用する1歳児の全国調査結果から—. こども環境学研究 2(1) : 159-164, 2007.
9. 西村真実¹, 田中裕², 酒井初恵³, 宮崎勝宣⁴, 篠原亮次⁵, 杉澤悠圭⁵, 丸山昭子, 安梅勅江⁶ (1奈良佐世保短大, 2治田西カナリヤ第三保育園, 3小倉北ふれあい保育所, 4豊新聖愛園, 5国立看護大学校研究過程部, 6筑波大・人間総合科学研究科) : 延長型学童保育ニーズ実態と課題に関する研究. 日本保健福祉学会誌 13(2) : 19-27, 2007.
10. 山元有佳, 山本絵美¹, 高橋康一² (1杏林大・医学部附属病院²永井産婦人科) : 青年とその母親の更年期症状への認識に関する検討—大学生とその母親の pair study を中心として—. 母性衛生 47:597-606, 2007.

III. 著書

1. 佐々木裕子 : 働く女性. ウィメンズヘルスナーシング. 女性のライフサイクルとナーシング. 女性の生涯発達と看護. ライフサイクルと女性の心理. 村本淳子, 高橋真理編. 東京, ヌーベルヒロカワ, 2007, p. 57-58.
2. 佐々木裕子 : 女性と環境. ウィメンズヘルスナーシング. 女性の

ライフサイクルとナーシング．女性の生涯発達と看護．ライフサイクルと女性の心理．村本淳子，高橋真理編．東京，ヌーベルヒロカワ，2007，p．61-68．

その他

- 1．佐藤喜美子，山元有佳，太田ひろみ¹（¹杏林大・保・地域看護学）：なんでも揃う「ツインズマーケット」－多胎育児中の親のためのイベント「ツインズマーケット」を開催して ツインズぷらす 18：34-37，2006．
- 2．大脇淳子：市民公開講座 第4回エパルクオープンセミナー（専門相談員），セキ・アレルギー・ぜんそくの疑問に専門家と熟練患者（EP）が答える大相談会，NPO法人EPAREC；環境汚染等から呼吸器病患者を守る会，東京，平成19年2月12日

地域看護学

<口 演>

- 1．塚原洋子：「なぜボランティア」私の体験・であいの輪 武蔵野赤十字看護短期大学 看護の日講演会，武蔵野市，平成18年5月12日
- 2．塚原洋子：「病とともに生きるとは－実習学生が、患者さん、そしてご家族との対話をとおして学んだこと－」第11回日本難病看護学会学術集会，札幌市，平成18年8月25日
- 3．斉藤恵美，田村 優，塚原洋子：「問題行動をもつ高齢者」を介護する女性の健康問題．第65回日本公衆衛生学会総会，富山，平成18年10月25日
- 4．塚原洋子：個別への支援を基礎にした保健師活動の展開 青森県保健師研修 青森市 平成19年2月20日

<その他>

- 1．塚原洋子：平成18年度 府中市処遇困難事例検討会スーパーバイザー 平成18年4月～平成19年3月まで毎月1回 府中市

<各種委員>

- 1．塚原洋子：小平市介護保険事業計画策定委員会委員長
- 2．塚原洋子：東村山市高齢者在宅計画策定委員会委員
- 3．塚原洋子：東村山市介護保険事業計画策定委員会委員長
- 4．塚原洋子：東京都小児保健協会理事
- 5．塚原洋子：府中市検診評価委員会委員

1．地域看護学

2．山口佳子

3．八王子キャンパス 内線 4542

<口 演>

- 1．山本光，藤田恵実，山口佳子：地域保健と学校保健の連携におけ

る保健師の役割．第65回日本公衆衛生学会総会，富山，平成18年10月25-27日．

2．山口佳子，加藤昌代，太田ひろみ，塚原洋子：同窓保健師交流会の効果 参加直後及び参加後1年間の評価．第65回日本公衆衛生学会総会，富山，平成18年10月25-27日．

3．山口佳子，加藤昌代，太田ひろみ，塚原洋子：保健所実習における地区診断の効果的な実施方法－導入から3年目の評価と次年度への課題．日本地域看護学会第9回学術集会，和光市，平成18年7月29-30日

<論文>

1．山口佳子，加藤昌代，太田ひろみ，塚原洋子：同窓保健師交流会の評価，杏林大学研究報告教養部門 24：41-53，2006．

<その他>

<<報告書>>

1．井上純子¹，今村知明²，大場エミ³，斉藤恵美子⁴，永江尚美⁵，平野かよ子⁶，藤岡正昭⁷，八幡成美⁸，山口佳子^(1岡山県備前市保健福祉部保健課，²東京大学医学部付属病院企画情報運営部，³全国保健師長会，⁴首都大学東京健康福祉学部，⁵島根県健康福祉部健康推進課，⁶国立保健医療科学院公衆衛生看護学部，⁷青森県健康福祉部健康福祉政策課，⁸法政大学キャリアデザイン学部)：平成18年度地域保健総合推進事業 保健師の2007年問題に関する検討会報告書．平成19年3月

<<保健師を対象とする研修での講演>>

1．山口佳子：平成18年度 専門職等研修 保健師研修「保健行政の現状と課題」①，平成18年6月29日，府中市．

2．山口佳子：平成18年度 神奈川県厚木保健所保健師研修「制度改正と保健師活動」．平成18年11月6日，海老名市．

3．山口佳子：平成18年度 府中市保健師研修「活動評価と地区診断」①，平成18年12月7日

4．山口佳子：平成18年度 府中市保健師研修「活動評価と地区診断」②，平成19年1月18日

5．山口佳子：平成18年度 専門職等研修 保健師研修「保健行政の現状と課題」②，平成19年2月27日，府中市．

6．山口佳子：平成18年度 府中市保健師研修「活動評価と地区診断」③，平成19年3月15日

<<各種委員>>

1．山口佳子：日本地域看護学会，教育委員会委員（平成18年12月～21年7月）

2．山口佳子：平成18年度地域保健総合推進事業「保健師の2007年問題に関する検討会」委員（平成19年2月～3月）

3．山口佳子：財団法人日本人試験研究センター 平成19年度保健師採用試験委員（平成18年10月～19年9月）

1．地域看護学

2．太田ひろみ

3. 八王子キャンパス 内線 4551

<口 演>

1. 太田ひろみ, 佐藤喜美子¹, 山元有佳¹ (¹杏林大・保・母子看護助産学) : 多胎育児支援への取り組み. 東京母性衛生学会, 和光市, 平成 18 年 5 月 21 日.
2. 太田ひろみ, 佐藤喜美子¹, 山元有佳¹ (¹杏林大・保・母子看護助産学) : 多胎育児サークル運営上の課題と保健師への期待. 第 8 回日本地域看護学会学術集会, 和光市, 平成 18 年 7 月 29-30 日.
3. 太田ひろみ, 佐藤喜美子¹ (¹杏林大・保・母子看護助産学), 塚原洋子 : 多胎育児自主グループ間の連携への支援. 第 65 回日本公衆衛生学会, 富山, 平成 18 年 10 月 25-27 日.
4. 太田ひろみ, 佐藤喜美子¹ (¹杏林大・保・母子看護助産学), 加藤昌代, 塚原洋子 : 乳幼児を持つ父親への育児学習支援. 53 回日本小児保健学会, 山梨, 平成 18 年 10 月 26-28 日.
5. 山元有佳¹, 佐藤喜美子¹, 太田ひろみ (¹杏林大・保・母子看護助産学) : 多胎育児支援への取り組み. 第 47 回日本母性衛生学会, 名古屋, 平成 18 年 11 月 9-10 日.
6. 太田ひろみ, 山元有佳¹, 佐藤喜美子¹ (¹杏林大・保・母子看護助産学) : 多胎育児支援へのニーズと実際. 第 21 回日本双生児研究学会, 和光市, 平成 19 年 1 月 27 日.

<その他>

1. 佐藤喜美子¹, 山元有佳¹ (¹杏林大・保・母子看護助産学), 太田ひろみ : なんでも揃う「ツインズマーケット」-多胎育児中の親のためのイベント「ツインズマーケット」を開催して. ツインズぷらす, 18 : 34-37, 2006.

1. 地域看護学

2. 加藤昌代

3. 八王子キャンパス 内線 4519

<口 演>

1. 加藤昌代, 太田ひろみ, 塚原洋子 : 保育園に子どもを預けて働く母親の保健意識と保健行動 (第 2 報). 第 53 回日本小児保健学会, 山梨, 平成 18 年 10 月 26 日.
2. 加藤昌代, 下開千春¹, 渡辺志保², 安藤実里², 岩永俊博² (¹第一生命経済研究所, ²地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)

: 地域づくり型保健活動は自律発展性のある組織づくりのツールとなりうるのか 2.

第 65 日本公衆衛生学会, 富山, 平成 18 年 10 月 27 日.

3. 加藤昌代, 下開千春¹, 渡辺志保², 安藤実里², 岩永俊博² (¹第一生命経済研究所, ²地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター) : 地域づくり型保健活動を発展させる要因は何か~実践地域の調査結果から~. 第 10 回日本健康福祉政策学会, 東京, 平成 18 年 12 月 9 日.

<論 文>

1. 加藤昌代：「地域づくり型保健活動」における住民のエンパワメント「健康関城 21」計画策定を通して．響きあう街で 75：6-10，2006．

細胞診断学教室

I．口演

1. 山本寛¹，滝口祥恵²，海野みちる³，郡秀一，飯島淳子，安井英明，大河戸光章¹，藤井雅彦¹（¹杏林大・保・病理学，²千葉県立東金病院，³杏林大・医・病理学）：前立腺腫瘍におけるPIN Cocktail抗体を用いた二重染色．第55回日本医学検査学会，島根，平成18年5月19日．
2. 郷田敦史，郡秀一，飯島淳子，安井英明：肺腺癌におけるTopoisomerase II α の組織内発現の検討，第95回日本病理学会総会，東京，平成18年4月30日．
3. 郡秀一，飯島淳子，安井英明：ウェブログを用いた細胞画像教育の問題点．第1回日本臨床検査学教育学会，東京，平成18年8月24日．
4. 郡秀一：婦人科疾患（子宮頸部）の免疫組織化学．東京都臨床検査技師会病理細胞診研究班講習会，東京，平成18年9月21日．
5. Goda A, Umino M¹, Iijima J, Kohri S, Komatsu A² and Yasui H（¹ Kyorin Univ. Faculty of Med., Dept of Pathology, ² Jiseikai Hosp., Dept of Pathology）：Immunocytochemical expression of topoisomerase II α in lung cancer. The 5th Korea - Japan Joint Meeting for Cytology, Korea, Oct. 21, 2006.
6. 加藤文伸¹，横瀬智之¹，浦崎政浩¹，中平隆志¹，新発田雅晴¹，堀江奈保子¹，郡秀一，安江育代²（¹株式会社病理生物情報解析センター，²安江レディースクリニック）：臍壁に発生した稀な Bowenoid Papulosis の一例．第45回日本臨床細胞学会秋期大会，東京，平成18年11月11日．

II．論文

1. Nezu S¹，Tanaka A²，Yasui H，Imamura M¹，Nakajima H¹，Ishida H¹ and Takahashi S¹（：¹ Kyorin Univ. Faculty of Med., Third Dept of Int. Med. ² Teikyo Univ. School of Med. Dept of Med）：Presence of antimitochondrial autoantibodies in patients with autoimmune hepatitis. J Gastroenterol and hepatol 21:1448-1454, 2006.

2. 山下暁子、大河戸光章¹、武者晃永²、藤井雅彦¹、Brekken RA³、安井英明（¹保健・病理、²伊勢原協同病院産婦人科³ UT-Southwestern Medical Center, Dept of Surgery, Hamon Center for Therapeutic Oncology Research）：子宮内膜増殖症、子宮内膜異型増殖症および類内膜腺癌における vascular endothelial growth factor ファミリー免疫組織化学的検討．診断病理 23: 101- 106, 2006.

Ⅲ．著書

なし

Ⅳ．その他

1. 第95回日本病理学会総会、東京、平成18年5月1日
宿題報告第2席、追手巍．糸球体腎炎：発症・進展そして糸球体硬化．座長
2. 第95回日本病理学会総会、東京、平成18年5月1日
コンパニオンミーティング、Liver Disease Working Group Kanto
「肝疾患の臨床および病理診断における pitfall とその背景」座長
2. 飯島淳子：学会だより，臨床検査，vol.50:1071，平成18年9月．

（17年度分）

I．口演

1. 山本 寛¹，滝口祥恵²，郡 秀一，飯島淳子，安井英明，海野みちる³，大河戸光章¹，藤井雅彦¹（¹杏林大・保・病理学，²千葉県立東金病院検査科，³杏林大・医・病理学）：前立腺組織における D2-40 の発現．第54回日本医学検査学会，京都，平成17年5月14日．
2. 郡秀一，山本 寛¹，飯島淳子，安井英明，藤井雅彦¹，福田利夫²，吉田朋美²，（¹杏林大・保・病理学，²群馬大学医学部保健学科）：ウェブサイトを用いた形態系教育の試み．第54回日本医学検査学会，京都，平成17年5月14日．
3. 山本 寛¹，滝口祥恵²，郡 秀一，飯島淳子，安井英明，海野みちる³，大河戸光章¹，藤井雅彦¹（¹杏林大・保・病理学，²千葉県立東金病院検査科，³杏林大・医・病理学）：前立腺腫瘍における PIN Cocktail (P504S+p63) 抗体の検討．第42回関東甲信地区医学検査学会，東京，平成17年9月18日．

Ⅱ．論文

1. 山本 寛¹，滝口祥恵²，郡 秀一，飯島淳子，安井英明，海野

みちる³，大河戸光章¹，藤井雅彦¹（¹杏林大・保・病理学，²千葉県立東金病院検査科，³杏林大・医・病理学）：乳腺腫瘍における Vascular Endothelial Growth Factor-C の発現とリンパ管侵襲．医学検査 Vol 54：1072-1076．2005．

2. 山本 寛¹，滝口祥恵²，郡 秀一，飯島淳子，安井英明，海野みちる³，大河戸光章¹，藤井雅彦¹（¹杏林大・保・病理学，²千葉県立東金病院検査科，³杏林大・医・病理学）：リンパ管内皮細胞特異抗体(D2-40)を用いた乳癌のリンパ管侵襲の検討．医学検査 Vol 54：1327-1331．2005．

3.

Ⅲ．著 書

なし

Ⅳ．その他

1. 郡 秀一：ウェブログを利用した写真問題対応の臨床検査教育．全国臨床検査技師教育施設協議会第 33 回夏期教職員研修会，宮城県松島，平成 17 年 8 月 25 日．

2. 郡 秀一：扁平上皮癌細胞の見方．平成 17 年度形態検査部門研修会 細胞検査技術の習得，京都府，平成 17 年 9 月 24 日．

臨床血液学教室

Ⅰ．口 演

1. T Komoda, H Yamamoto, N Sekine, H Bannai. : Kinetic study of serum antibodies to *Chlamydia trachomatis* and *Chlamydophila pneumoniae* in long term follow-up patients. The 27 World Congress of Biochemical Laboratory Science, Seoul Sep. 17, 2006.

2. 中竹俊彦：手軽にできる健康チェック「血液の健康チェックと病院検査（Ⅰ）血液の性質を知りましょう」。主催・八王子市「いちよう塾」。八王子。平成 19 年 2 月 24 日

3. 中竹俊彦：手軽にできる健康チェック「血液の健康チェックと病院検査（Ⅱ）健康な血液の知識を整えましょう」主催・八王子市「いちよう塾」。八王子。平成 19 年 3 月 3 日

Ⅱ．論 文

1. 中竹俊彦：リンパ球の世界－リンパ球系と核小体（AgNOR 染色画像とその解説）－．都臨技会誌 35(1)，2007．

Ⅲ．著 書

1. 中竹俊彦：骨髓像の解析と表現法（第 2 巻）－リンパ球を追う－．近代出版．平成 18 年 6 月 1 日

Ⅳ．その他

1. 中竹俊彦：末梢血液標本の見方．東京都臨床検査技師会・末梢血液標本判読実技講習会．東京．平成18年6月18日．
2. 中竹俊彦：骨髓塗抹標本の見方．東京都臨床検査技師会・骨髓像判読実技講習会．東京．平成18年10月22日．

医療コミュニケーション学教室

口演

1. 鱸伸子：連想ゲームで作成するミッション書き方、日本コーチ協会神奈川チャプターワークショップ、横浜、平成18年1月28日
2. 鱸伸子：保健師のためのコーチングスキル、平成17年度埼玉県管理者保健師研修ワークショップ、平成18年1月31日
3. 柳澤厚生：栄養士のためのコーチング、全国行政栄養士協議会、東京、平成18年2月16日
4. 柳澤厚生：歯科医療におけるコーチング、日本歯科大学ワークショップ、東京、平成18年2月16日
5. 鱸伸子、山内亮子¹、和田貴子¹、深澤政富¹、柳澤厚生（¹杏林大・保・救急医学）：救急救命士を目指す学生に対するコーチング・コミュニケーション教育の評価、第9回日本臨床救急医学会総会、盛岡、平成18年5月12日
6. 柳澤厚生：管理栄養士・栄養士と教育者のためのコーチングスキル（ワークショップ）、平成17年度全国研究教育栄養士協議会総会、福岡、平成18年3月2日
7. 柳澤厚生：教育とコーチング（教育講演）、平成17年度全国研究教育栄養士協議会、福岡、平成18年3月2日

【論文】

1. 柳澤厚生：金属と解毒・キレーション、日本抗加齢医学会雑誌 2:60-63, 2006
2. 鱸伸子、柳澤厚生、小池秀海、深澤政富、和田貴子：救急救命士課程学生のコミュニケーション技術向上のためのコーチング実習導入、日本臨床救急医学会雑誌 9:320-325, 2006.

【著書】

1. 柳澤厚生著、ニュートリッション・コーチング、医歯薬出版、2006
2. 鱸伸子：メデイカルコーチングQ&A 医療・看護の現場からの40の質問（安藤潔編）、真興交易出版、2006

【その他】

1. 柳澤厚生著、父親こそ子どもの人生の名コーチ、学芸社、2006